

NDD認定制度要綱【事業者向け】 Ver 1.2

Non-Deceptive Design

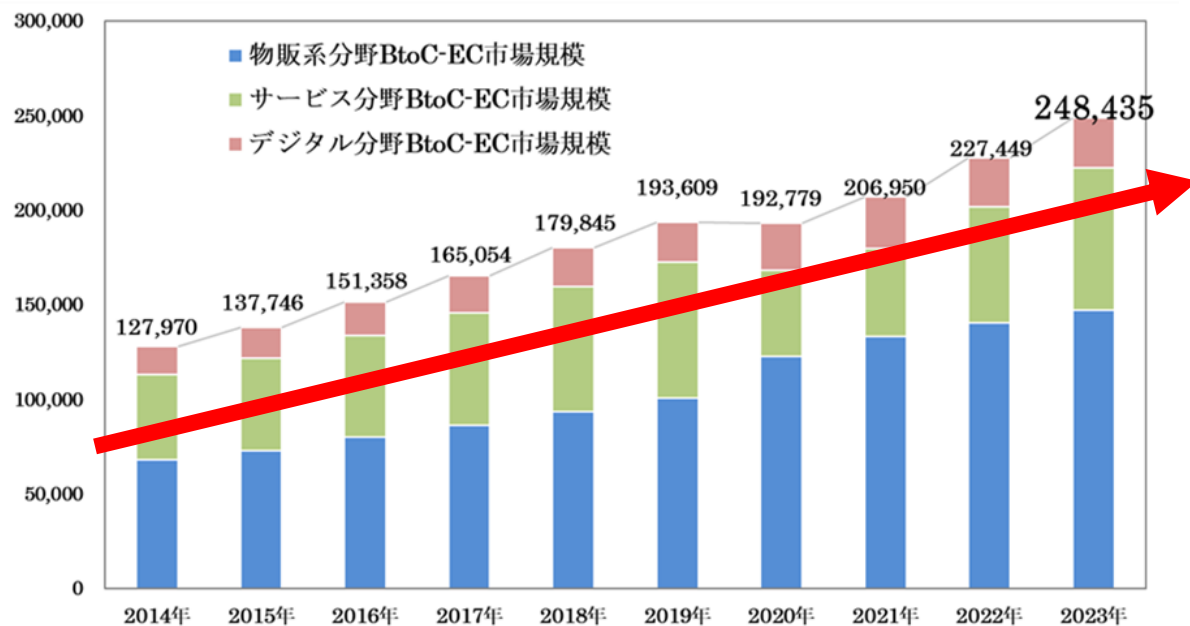
2026年5月20日

一般社団法人ダークパターン対策協会

1. NDD認定制度ができた背景
2. NDD認定制度の目的
3. 審査・認定の仕組み
4. 認定マークとその種類
5. 認定マークの表示ルールと仕組み
6. ダークパターン・ホットラインについて
7. 認定取り消しルール
8. 今後のバージョンアップ計画
9. 参考情報

1. **NDD認定制度ができた背景**
2. NDD認定制度の目的
3. 審査・認定の仕組み
4. 認定マークとその種類
5. 認定マークの表示ルールと仕組み
6. ダークパターン・ホットラインについて
7. 認定取り消しルール
8. 今後のバージョンアップ計画
9. 参考情報

子どもから高齢者まで、インターネットは日常生活の一部に。



ネット取引（B2C）は**年間25兆円**に迫り、前年比9.23%増と右肩上がり。

全体の商取引の中でのEC化率はまだ9.38%
前年比0.25ポイント増であり、まだまだ

成長余力がある。そのような中、社会問題としてクローズアップされてきたのが...

経済産業省「令和5年度電子商取引に関する市場調査」参照

<https://www.meti.go.jp/press/2024/09/20240925001/20240925001.html>

ダークパターン

ディセプティブパターン（いわゆる”**ダークパターン**”）は、Webサイトやアプリ等で、あなたの意図に反して何かを購入させたり、何かに申し込ませる等の行動を取らせるために使われるトリックである

UXデザイナーのHarry Brignull氏が2010年に最初に提唱

類似のケースに出会ったことはありませんか？

田中さん（仮名：72歳）は、最近体調がよくないのか毎日楽しんでいた晩酌が美味しいと感じなくなった。ネットで肝臓によいというサプリメントのバナー広告を見つけクリックしたところ...



顧客満足度No.1、続けたいサプリNo.1、口コミ人気度No.1 三冠達成！
という**No.1広告**に続き、愛飲者が体調がよくなったという**顔写真入りの口コミ**。

このページを見ているあなたはラッキーです。通常8,000円/月の商品が**今だけ800円でお試し**頂けます。（つづく）

類似のケースに出会ったことはありませんか？



ただし、大人気商品なので**在庫があとわずか**です。

このページを閉じると**二度と見られない**かもしれません。

お急ぎを！

との宣伝文句。本当かどうかはわからないが体調がよくなるなら、しかも、800円だったら試してみてもよいかと思い、クレジットカード情報や氏名、住所などを入れて**規約はよく読まず購入**。

早速商品が届き、サプリメントを飲んでみた。特に効果のほどは感じられなかったので、リピートするつもりはないが800円のお試しなのでよいかと納得。(つづく)

類似のケースに出会ったことはありませんか？



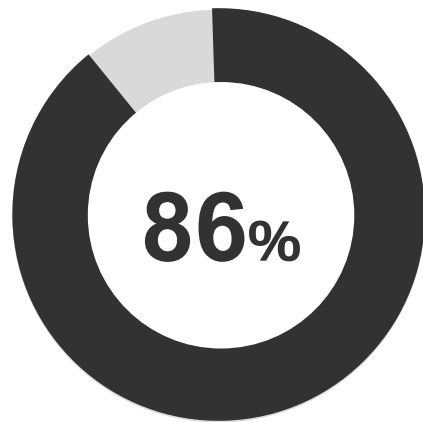
嫌な体験をした田中さん（仮称）のイメージ

最初の商品購入から1か月経って忘れた頃に、またサプリメントが届く。1回限りのお試しのはずなのに...と購入時に送られてきたメールを注意深く読むと**小さい薄い文字で1年契約の定期購入**になっていることや、**解約料に関する記載**が。

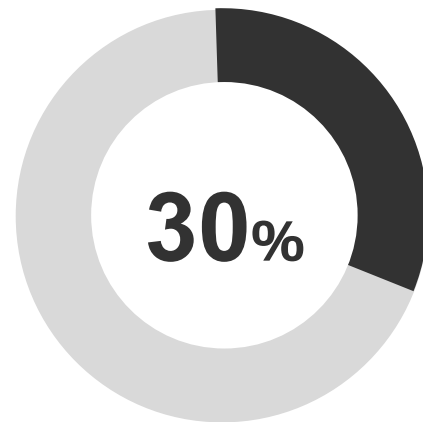
慌てて解約をしようにも**ネットでは解約できず、コールセンター**へ電話。「**ナビダイヤル**でおつながります。」と20秒毎に課金され、10分経っても20分経っても**つながらない**。

ようやくオペレーターに繋がるが**引き止め工作**にあい、嫌な気分で解約をするも、**解約料**として半年分48,000円を請求される。確かに**規約**には小さい字で書いてあり、**読まずに同意**したため**泣き寝入り**に...

ダークパターンを
経験したことがある



ダークパターンにより
金銭被害を受けたことがある



ダークパターンによる
1人あたり年間被害額
(推計)

およそ
33,000円

訴訟が難しく泣寝入りしてしまうケースも

推計被害総額：年間1兆円以上

日本のインターネット人口1億400万人と想定

適切な情報提供

ダークパターン (広義)

法律違反

不適切な
情報提供

同意疲れ

ダークパターン
(狭義)

正しく
伝わる

正しく
伝わらない

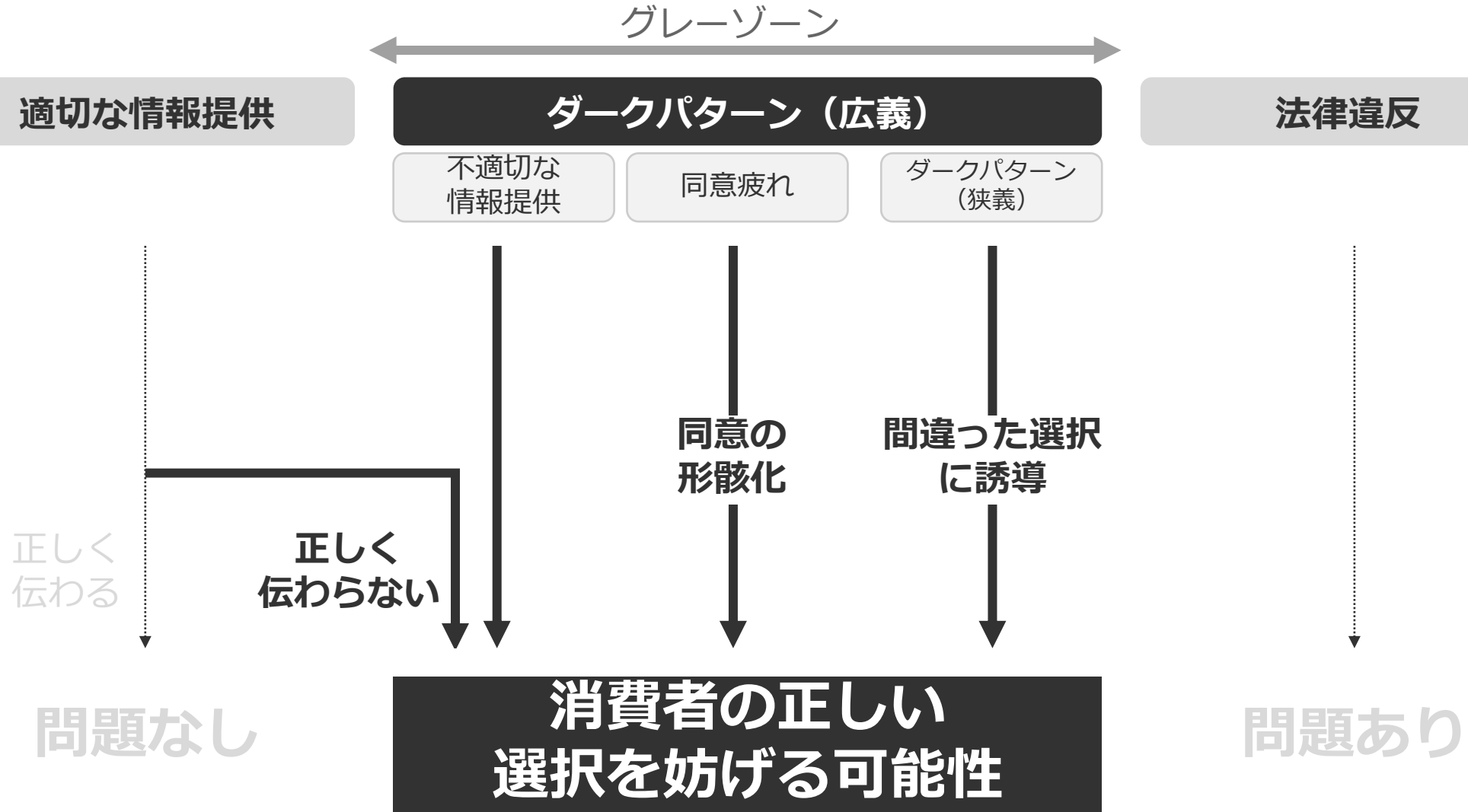
同意の
形骸化

間違った選択
に誘導

問題なし

消費者の正しい
選択を妨げる可能性

問題あり



目次

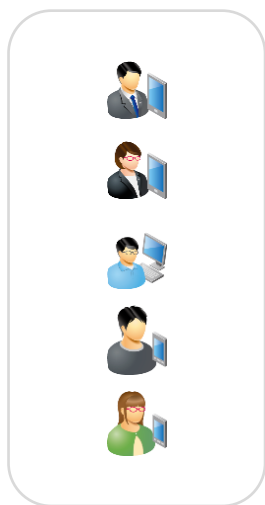
1. NDD認定制度ができた背景
- 2. NDD認定制度の目的**
3. 審査・認定の仕組み
4. 認定マークとその種類
5. 認定マークの表示ルールと仕組み
6. ダークパターン・ホットラインについて
7. 認定取り消しルール
8. 今後のバージョンアップ計画
9. 参考情報

誠実なWebサイトを審査・認定することで該当サイトが消費者に信頼され、一方ダークパターンを用いているWebサイトは消費者から選択されなくなり、安心してインターネットを使える世界を目指した制度

現状

どのWebサイトを信用してよいのかよくわからない

様々な理解度の
消費者



様々な実装の
Webサイト



消費者の正しい選択を阻害し、被害につながる場合も...

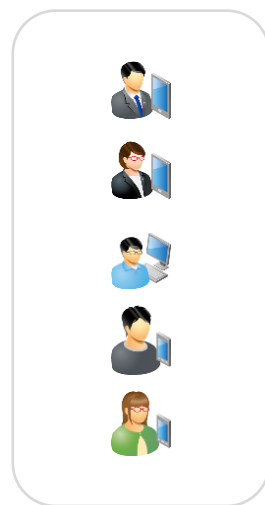
誠実なWebサイトがダークパターンに負ける

→ **正直者がバカを見る + 消費者被害** これを是正したい

目指す姿

誠実なWebサイトをNDD認定し、消費者へ判断材料を提供
安心してインターネットを使えるように

様々な理解度の
消費者



様々な実装の
Webサイト



消費者の正しい選択を補助し、ダークパターン淘汰へ

目次

1. NDD認定制度ができた背景
2. NDD認定制度の目的
- 3. 審査・認定の仕組み**
4. 認定マークとその種類
5. 認定マークの表示ルールと仕組み
6. ダークパターン・ホットラインについて
7. 認定取り消しルール
8. 今後のバージョンアップ計画
9. 参考情報

クッキーバナー表示

表示あり

表示なし

ネット取引

金銭の授受あり

金銭の授受ないが
個人情報活用あり

金銭の授受なし
個人情報活用なし

認定取得対象の
当該サイト単位
で審査

認定取得対象の
全サイトを管理
する組織単位で
審査

クッキーバナー表示

ネット取引

表示あり

表示なし

金銭の授受あり

金銭の授受ないが
個人情報活用あり

金銭の授受なし
個人情報活用なし

認定取得対象の
当該サイト単位
で審査

例

- 会員登録が
必要なECサイト
- 会員登録が
不要なECサイト
- サブスク
サービスサイト

例

- 会員登録が
必要な求人サイト

例

- 賞品発送のみの
目的で個人情報
取得するキャン
ペーンサイト

認定取得対象の
全サイトを管理
する組織単位で
審査

クッキーバナー表示

ネット取引

表示あり

表示なし

金銭の授受あり

金銭の授受ないが
個人情報活用あり

金銭の授受なし
個人情報活用なし

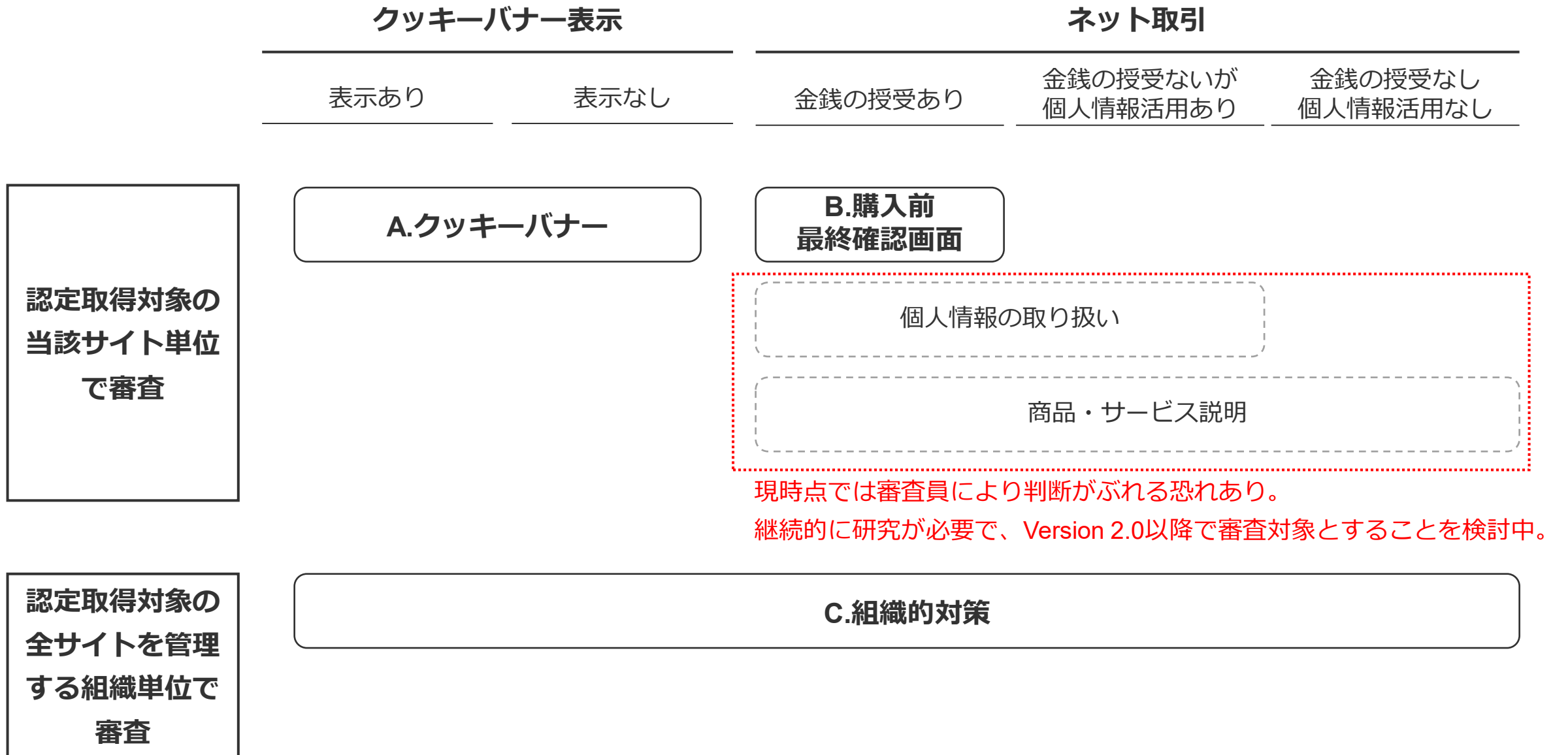
認定取得対象の
当該サイト単位
で審査

A.クッキーバナー

B.購入前
最終確認画面

認定取得対象の
全サイトを管理
する組織単位で
審査

C.組織的対策



選定方針①

審査員により判断がぶれないこと

- **審査の公平性の観点から、ver1.1では審査員によって判断がぶれない項目を審査対象とした**
 - 「在庫があとわずか」「キャンペーンまもなく終了」といった、ダークパターンと分類されるデザインも消費者にとって有益な場合もあるため、一概にダークパターンとは言えない。そのため、審査員によって判断が変わる恐れがある
 - 消費者心理を過度に事業者にも有利な方向へ誘導する度合いを定量的に計ることができる・どこからがダークパターンなのかの線引きを言語化できる等、一定の条件を満たした場合に、審査対象に引き上げることを検討
 - 現状の被害が大きいことから、上記の研究を待つよりも速やかに制度を開始し、バージョンアップをしながら審査範囲を広げていく方が消費者被害軽減に有益と考えた
 - この審査員により判断がぶれないことを前提に、右の②の選定方針をとった

選定方針②

大きな問題からつぶしていく

- **A. クッキーバナー（個人情報詐取の入口対策）**
 - 3rd Party Cookieに代表される行動動態の外部送信後のプロファイリングを元に、詐欺広告の表示などで個人情報を詐取する入口に使われるため、適切な本人関与機会の提供が重要
 - 不親切なオプトアウト設定をしたり、拒否しても情報を取得し続けている等、**ダークパターンといえる事業者優位なバナー設定になっているケースが多く見られる**
- **B. 購入前最終確認画面（金銭的被害の出口対策）**
 - 金銭的被害の一番の原因が購入前最終確認画面での重要事項が正しく消費者に伝わっていないこと
 - 特定商取引法でも規制されているが、事業者・消費者双方に**分かりやすく伝えることが必要**

選定方針③

ダークパターンを生み出しにくい/発生しても自浄作用が働く組織の重要性

・ C. 組織的対策

- 現状の問題として、消費者団体からダークパターンが疑われるクレームが入っても、**真摯に対応しない他人事と捉えている事業者が多数存在する**
- ダークパターンは消費者からの信頼を失うことであり、“**会社の問題**”として**重く捉えてもらうことが必要**
- 「**そもそもダークパターンを生み出さない/発生しても自浄作用が働く**」といったダークパターン対応に向けた**組織的ガバナンスがとれていることが重要**
 - ウェブサイトの規模や歴史にもよるが、組織内の人員の入れ替わりや時間の経過に伴い、ウェブサイトの管理を一人で行うことは難しくなってきている
 - その結果、意図せずダークパターンが発生する可能性もあり、これはどの企業でも起こり得る問題である
 - そのため、組織として迅速に是正策を講じる体制やレビュープロセスを確立し、ダークパターン対応に向けた教育を行うなど、組織的なガバナンスを強化することが重要

クッキーバナー

当該Webサイトで、クッキー等の**外部送信技術**を活用している場合、**審査対象にすることを推奨**
(必須クッキーのみの活用であれば審査対象外)

購入前最終確認画面

当該対象Webサイトで、**金銭の授受が発生する電子商取引を扱う場合は審査対象**とする

組織的対策

上記**いずれかの審査範囲に申込される場合はあわせて審査対象**とする

申込できる組み合わせ

パターン1

クッキーバナー

&

購入前最終確認画面

&

組織的対策

パターン2

クッキーバナー

&

組織的対策

パターン3

購入前最終確認画面

&

組織的対策

クッキーバナー

クッキーバナーの**スクリプト単位**で審査します。
スクリプトが異なる場合、**サブドメインやサブディレクトリ毎に申込が必要**です。

購入前最終確認画面

ドメインごと、また、それを管轄する責任者ごとに**申込が必要**です。

組織的対策

認定取得対象の全サイトを管理する組織単位で**申込が必要**です。

クッキーバナー

クッキーバナーの**スクリプト単位**で審査します。

スクリプトが異なる場合、サブドメインやサブディレクトリ毎に申込が必要です。

クッキーバナー

例①：1種類のスク립トがexample.com配下に実装されている場合

申込1 : example.com

aaa.example.com



HTML
<script>クッキーバナー1</script>

bbb.example.com



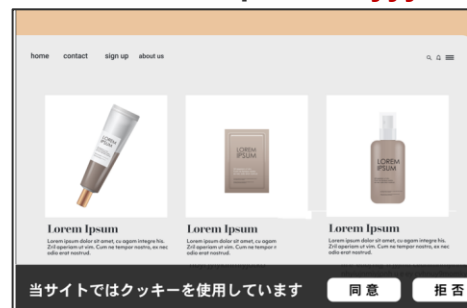
HTML
<script>クッキーバナー1</script>

aaa.example.com/xxx



HTML
<script>クッキーバナー1</script>

bbb.example.com/yyy



HTML
<script>クッキーバナー1</script>

クッキーバナー

例②： example.com配下の複数サブドメインで、それぞれ独自のスク립トが実装されている場合

申込1：aaa.example.com



HTML
<script>クッキーバナー**1**</script>

aaa.example.com/xxx



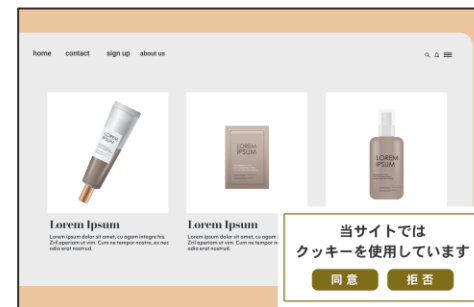
HTML
<script>クッキーバナー**1**</script>

申込2：bbb.example.com



HTML
<script>クッキーバナー**2**</script>

bbb.example.com/yyy



HTML
<script>クッキーバナー**2**</script>

クッキーバナー

例③： example.com配下の複数サブディレクトリで、それぞれ独自のスクリプトを実装されている場合

申込1： example.com/xxx



HTML
<script>クッキーバナー1</script>

申込2： example.com/yyy



HTML
<script>クッキーバナー2</script>

購入前最終確認画面

ドメインごと、また、それを管轄する責任者ごとに申込が必要です。

購入前最終確認画面

例①：同一責任者の管轄で、ドメインも同じ場合



EXAMPLE社
動画サブスクサイト

購入前最終確認画面

例②：同一責任者の管轄であっても、ドメインが異なる場合



購入前最終確認画面

例③：ドメインが同一だが、配下のサブドメイン・サブディレクトリを管轄する責任者が異なる場合



組織的対策

認定取得対象の全サイトを管理する組織単位で申込が必要です。

組織的対策に関する審査については、個別サイト単位ではなく、「審査申込の対象として含まれる全サイトを管理する組織単位」を対象とします。ここでいう組織とは、必ずしも全社を意味するものではなく、対象となる複数サイトを統括・管理している部門や部署等の単位を指します。なお、一つのサイトに複数の部門・部署が関与して組織的対策を実施している場合でも1つの組織単位として扱います。

そのため、組織的対策の審査においては、当該組織における方針策定、管理体制、レビュープロセス等が、対象となる全サイトに対してどのように適用・運用されているかが確認されます。

また、NDD認定は必ずしも全社一括での取得を前提とするものではなく、まずは特定の部門や事業単位において管理しているサイト群を対象として組織的対策を実施の上で認定を取得し、その後、対象範囲を他部門や全社へと段階的に拡大していき、それに併せて組織的対策も他部門や全社に拡大していく、といった進め方も可能です。

このように、組織の実態や体制に応じて柔軟に認定対象範囲を設定できます。

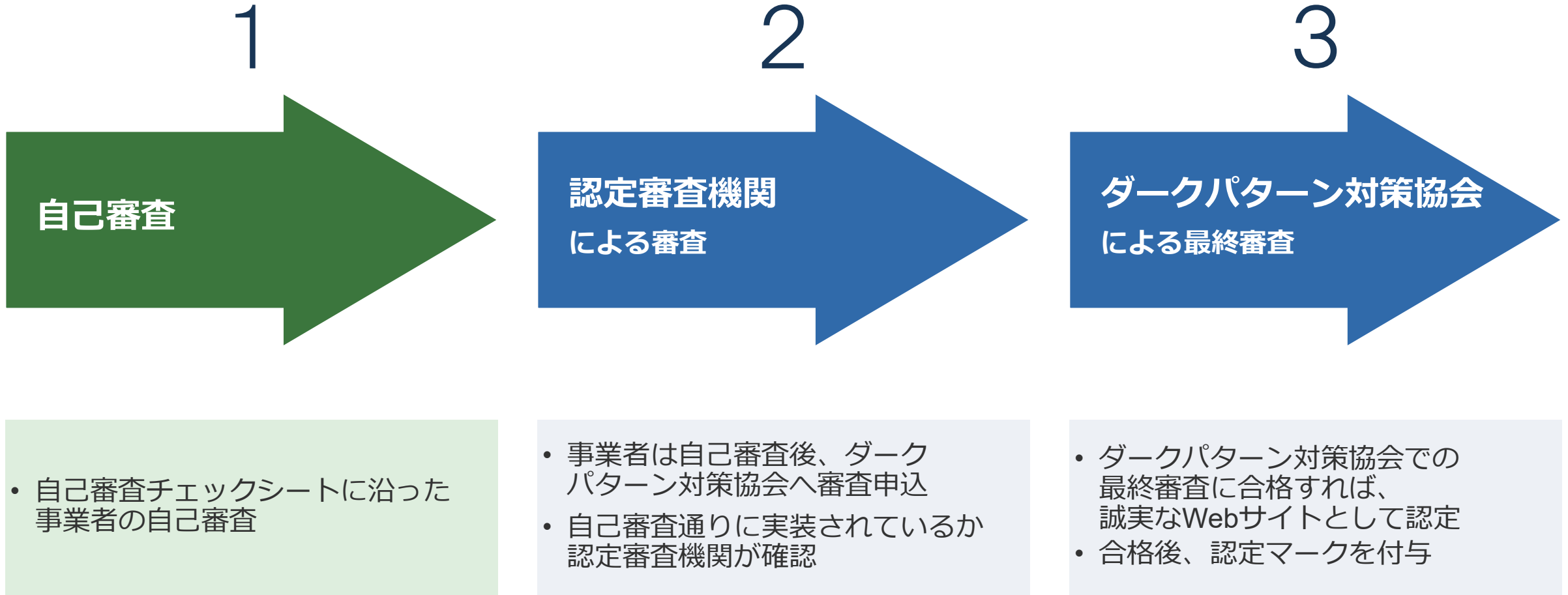
部門単位の認定やその後全社単位への認定へのアップグレード

部門単位での認定から全社単位への認定へ

当初は特定の事業部門のECサイトでNDD認定を取得し、その後他の事業部門へ広げたり、最終的に全社で取得というようにNDD認定の取得範囲を段階的に広げていくことが可能です。

対象範囲に応じて必要な場合は、責任者を部門長から複数の事業部門のWebサイトを管掌する役員に変更するなどの措置を講じてください。

三段階の審査による厳しいチェック

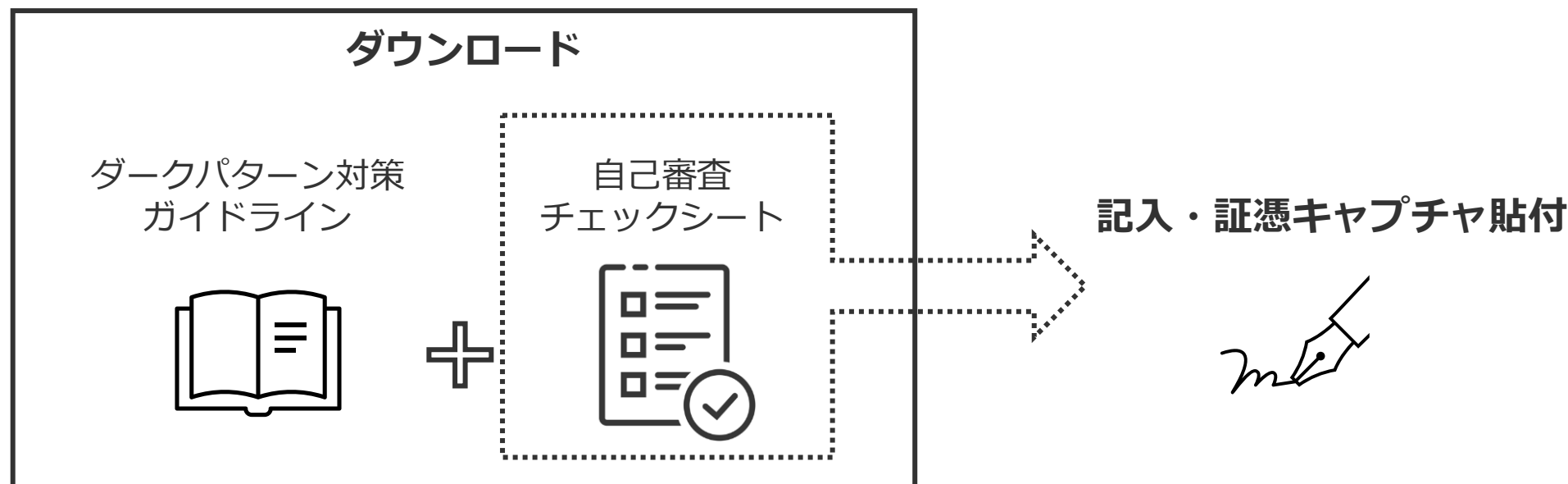


当協会Webサイトで審査規約を確認し、「**自己審査チェックシート（審査対象編）**」をダウンロードします。ダークパターン対策ガイドラインおよび自己審査チェックシートに沿って事業者で自己審査を実施し、審査結果を自己審査チェックシートに記入します。

不適合箇所があった際は是正対応し、審査範囲の全確認項目に適合するようにします。

（補足）

- ✓ ガイドラインで「審査対象」に区分された項目を審査します。
- ✓ 「組織的対策」の証憑として規程類を提示する際、該当箇所の画面キャプチャを自己審査チェックシート内に貼付する等、審査員が明確に分かるようにしてください。



「ユーザーからの見え方」を評価する審査範囲は、PC画面・スマホ画面両方で審査を行います。自己審査だけでなく、後続の認定審査機関、およびダークパターン対策協会による審査でも同様です。どのデバイスから閲覧しても、ガイドラインの基準を満たしていることを確認します。該当審査範囲では自己審査チェックシートにPC画面・スマホ画面両方のキャプチャ（証憑）を貼付します。

審査範囲

審査画面



A. クッキーバナー

A-1. デザイン

○

○

A-2. 制御

○

—

B. 購入前最終確認画面

○

○

C. 組織的対策

—

—

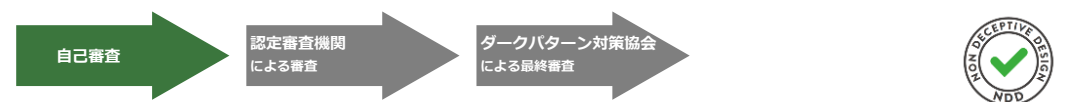
クッキーバナーのデザイン

クッキーバナーのデザインをチェック

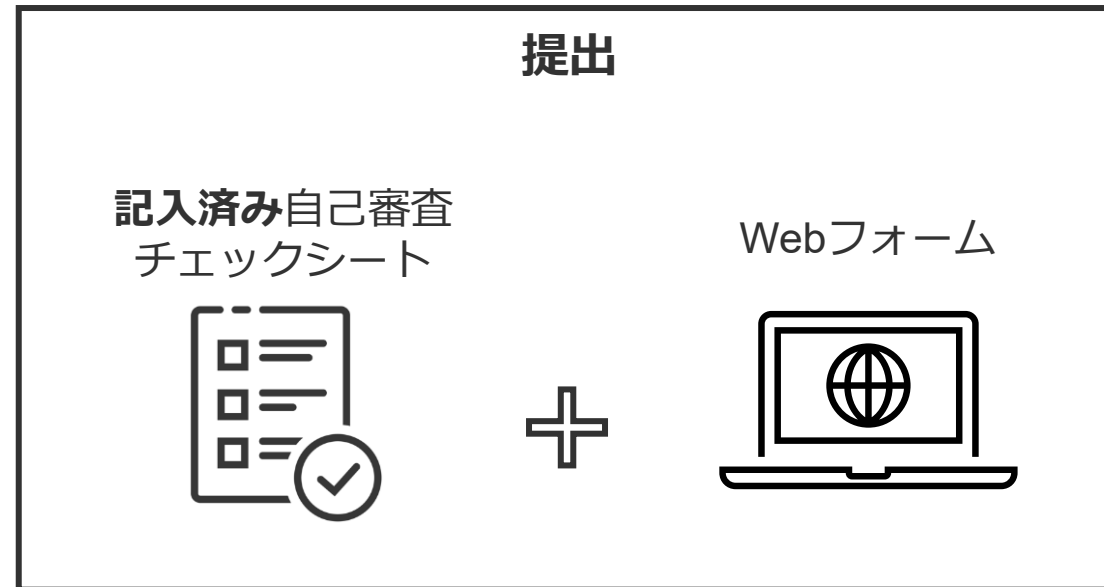
クッキーの制御

クッキーバナーにおける同意や拒否の操作に合わせて、クッキー制御が正しく行われているかどうかをチェック

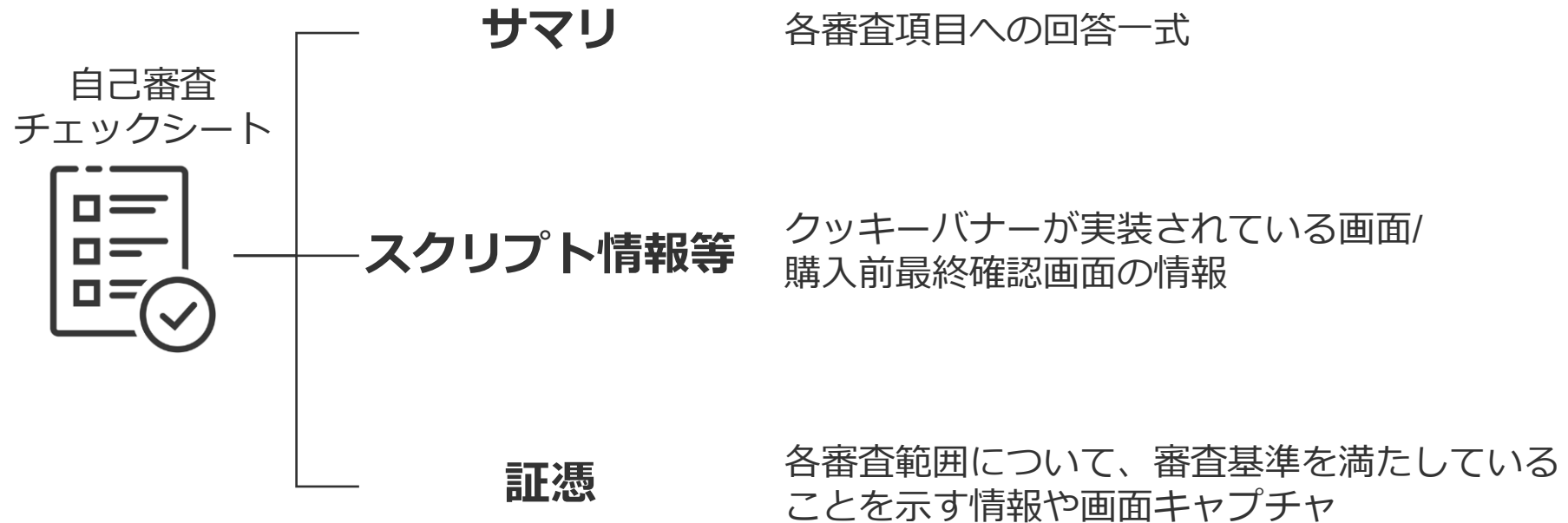
自己審査（自己審査チェックシート記入後）



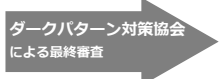
当協会Webサイトから審査見積のフォームを入力し、記入済み自己審査チェックシートを提出します。提出から数営業日以内に、当協会から審査費用の見積と審査費用の支払方法を含むその後の案内を提示します。事業者で見積結果を確認の上、正式申込や審査費用の支払いを行います。その後、認定審査機関による一次審査に進みます。



自己審査チェックシートは「サマリ」「スクリプト情報」「審査基準を満たしていることを示せる証憑」の大きく3要素で構成されています。



自己審査チェックシート：サマリシート



申込情報を記入します。

また、各証憑シートの記入内容がサマリシートに自動反映され、一覧で確認ができます。

ダークパターン対策自己審査チェックシート		バージョン1.1 (2025年公開) 一般社団法人ダークパターン対策協会																																														
◆申込情報																																																
企業・団体名称	フリガナ																																															
責任者名	フリガナ																																															
		メールアドレス																																														
◆審査対象サイト																																																
提供サービス																																																
スコープ (自動反映)	スコープ 1 クッキーバナー																																															
	スコープ 2 購入前最終確認画面																																															
	スコープ共通 組織的対策																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>スコープ2_購入前最終確認画面」が対象の場合、自己審査が必要)</th> <th>審査実施日</th> <th>審査結果</th> <th colspan="2">不適合であった場合のみ是正後に記入</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th></th> <th>是正完了日</th> <th>是正内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.1.1] 記載、またはわかりにくい表示をしていないこと。 解約や返品にかかる費用（解約にかかる手数料、返品時 など） 引渡時期・支払時期・引渡し時期</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1.4.2.1.2] 画面上において消費者が容易に認識しやすいうに表示せ らる重要項目の含まれた規約に同意したものとみなす画 面誘導を伴って購入させるような誘導をしていないこと。</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1.4.2.1.3] などについて、誤認を招く表示をしていないこと。</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>【5.1.4.2.6 こっそりカートへ - 5.1.4.2.6.1] 4 消費者自身の操作でカートに追加していない商品・サービスがカートに入れる手法を 取っていないこと。</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>【5.1.4.2.7 隠されたコスト - 5.1.4.2.7.1] 5 商品購入・サービス利用にかかる費用を消費者に認識しにくく表示したり、取引の後 期段階（購入前最終確認画面）になってから、追加でかかる必要な費用明らかにした りする手法を取っていないこと。</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>【5.1.4.2.8 隠された定期購入 - 5.1.4.2.8.1] 6 契約が1回限りではなく定期購入である場合、その旨の説明がわかりにくいこ と、および1回限りの購入のように誤認を招く表示になっていないこと。</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>【5.1.4.2.8 隠された定期購入 - 5.1.4.2.8.2] 7 契約が1回限りではなく定期購入である場合、各回に引き渡す商品の数量、引渡しの 回数、各回の代金の支払時期、各回の商品の引渡時期も表示していること。</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				スコープ2_購入前最終確認画面」が対象の場合、自己審査が必要)	審査実施日	審査結果	不適合であった場合のみ是正後に記入					是正完了日	是正内容	1.4.2.1.1] 記載、またはわかりにくい表示をしていないこと。 解約や返品にかかる費用（解約にかかる手数料、返品時 など） 引渡時期・支払時期・引渡し時期					1.4.2.1.2] 画面上において消費者が容易に認識しやすいうに表示せ らる重要項目の含まれた規約に同意したものとみなす画 面誘導を伴って購入させるような誘導をしていないこと。					1.4.2.1.3] などについて、誤認を招く表示をしていないこと。					【5.1.4.2.6 こっそりカートへ - 5.1.4.2.6.1] 4 消費者自身の操作でカートに追加していない商品・サービスがカートに入れる手法を 取っていないこと。					【5.1.4.2.7 隠されたコスト - 5.1.4.2.7.1] 5 商品購入・サービス利用にかかる費用を消費者に認識しにくく表示したり、取引の後 期段階（購入前最終確認画面）になってから、追加でかかる必要な費用明らかにした りする手法を取っていないこと。					【5.1.4.2.8 隠された定期購入 - 5.1.4.2.8.1] 6 契約が1回限りではなく定期購入である場合、その旨の説明がわかりにくいこ と、および1回限りの購入のように誤認を招く表示になっていないこと。					【5.1.4.2.8 隠された定期購入 - 5.1.4.2.8.2] 7 契約が1回限りではなく定期購入である場合、各回に引き渡す商品の数量、引渡しの 回数、各回の代金の支払時期、各回の商品の引渡時期も表示していること。				
スコープ2_購入前最終確認画面」が対象の場合、自己審査が必要)	審査実施日	審査結果	不適合であった場合のみ是正後に記入																																													
			是正完了日	是正内容																																												
1.4.2.1.1] 記載、またはわかりにくい表示をしていないこと。 解約や返品にかかる費用（解約にかかる手数料、返品時 など） 引渡時期・支払時期・引渡し時期																																																
1.4.2.1.2] 画面上において消費者が容易に認識しやすいうに表示せ らる重要項目の含まれた規約に同意したものとみなす画 面誘導を伴って購入させるような誘導をしていないこと。																																																
1.4.2.1.3] などについて、誤認を招く表示をしていないこと。																																																
【5.1.4.2.6 こっそりカートへ - 5.1.4.2.6.1] 4 消費者自身の操作でカートに追加していない商品・サービスがカートに入れる手法を 取っていないこと。																																																
【5.1.4.2.7 隠されたコスト - 5.1.4.2.7.1] 5 商品購入・サービス利用にかかる費用を消費者に認識しにくく表示したり、取引の後 期段階（購入前最終確認画面）になってから、追加でかかる必要な費用明らかにした りする手法を取っていないこと。																																																
【5.1.4.2.8 隠された定期購入 - 5.1.4.2.8.1] 6 契約が1回限りではなく定期購入である場合、その旨の説明がわかりにくいこ と、および1回限りの購入のように誤認を招く表示になっていないこと。																																																
【5.1.4.2.8 隠された定期購入 - 5.1.4.2.8.2] 7 契約が1回限りではなく定期購入である場合、各回に引き渡す商品の数量、引渡しの 回数、各回の代金の支払時期、各回の商品の引渡時期も表示していること。																																																

クッキーバナーが実装されているWebサイトのスクリプト種類（単位）、および電子商取引を扱うWebページのドメイン/サブドメイン等の情報を記入します。

クッキーバナーが実装されているWebサイトのスクリプト種類（単位）

スクリプト種類	トップレベルのドメインまたはサブドメインまたはサブディレクトリ

金銭の授受が発生する電子商取引を扱うWebページのドメインまたはサブドメイン情報

No.	トップレベルのドメインまたはサブドメイン
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	

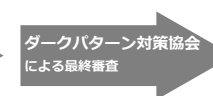
クッキーバナーについては、審査員の判断材料となるクッキー情報を記入します。

Webサイトで取得しているクッキー情報

クッキーバナー上の情報		ブラウザ開発者ツール上の情報	
クッキーバナーで同意又はオプトアウトが選択出来る利用目的のカテゴリの名称 (クッキーを利用する企業・サービス毎に同意又はオプトアウトが選択できるようになっている場合は省略し、C列のみに記載)	クッキーを利用する企業名およびサービス名	ブラウザ開発者ツールで表示されるクッキー名	ブラウザ開発者ツールで表示されるDomain

必須クッキー情報

ブラウザ開発者ツールで表示されるクッキー名	ブラウザ開発者ツールで表示されるDomain	Q1	Q2			
		Q3	Q4	Q5	Q6	
		このクッキーが無効になっている場合、Webサイト全体の停止、セキュリティ上の脅威の発生、ネットワークの問題の発生、ショッピングカートのアイテムの維持不能、負荷分散（ロードバランシング）への支障、クッキー同意情報の記録保持への支障など	情報取得の目的は広告に関連していますが（パーソナライズド広告、リターゲティング広告など）			
		情報取得の目的はWebサイト利用状況の分析やアクセス経路に関連していますか	情報取得の目的はWebサイトの機能性の拡張に関連していますか	Q4がYESの場合、どのような機能でしょうか		Q2、Q3、Q4が全てNOの場合は、当該クッキーによる情報取得の目的を記載ください



購入前最終確認画面については、審査員が実画面を確認する際に利用できるダミーアカウント情報や、購入前最終確認画面に至るまでの画面遷移キャプチャを記入・貼付します。

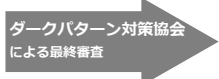
ダミーアカウント情報

ECサイト利用のためのダミーアカウント情報	
ダミーアカウントでの正常操作を確認できたECサイトのURL	
ID	
パスワード	
その他	必要な情報があれば記載

購入前最終確認画面に至るまでの画面遷移

▼1. 購入前最終確認画面のキャプチャを添付（PC画面/スマホ画面ともに）

▼2. 購入前最終確認画面に至るまでのキャプチャ3枚程度を添付（PC画面/スマホ画面ともに）



各証憑シートでは審査基準を満たしていることの証憑として確認点や該当キャプチャを記入・貼付します。クッキーバナーの一部項目では、ブラウザ開発ツールを用いて確認してください。

(本資料末尾にブラウザ開発者ツールの参考情報あり)

5.1.5.4.2 「透明性」に関する確認- 内容の真正性の確認

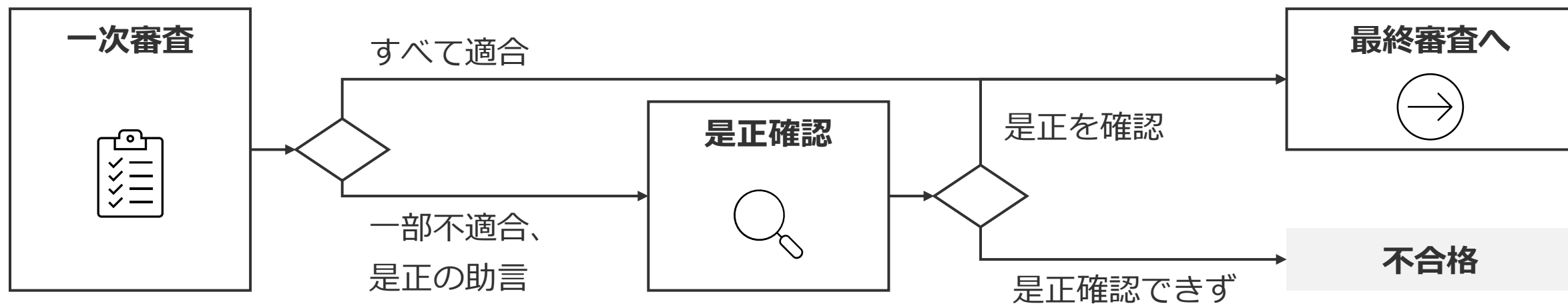
確認項目	(ブラウザの開発者ツールを確認し、実際にWebサイトで利用されているクッキーを確認したうえで、) 前項の5.1.5.4.1-(a)および5.1.5.4.1-(b)で掲示をしている情報に洩れや記載上の間違いがないこと。
確認結果 -審査時の確認点 -キャプチャ	

自己審査チェックシートの申告通りに、事業者のWebサイトが実装・運用されているかを、当協会の認定審査機関で一次審査をします。

- 一次審査の結果、審査対象の全確認項目について適合が認められた場合は、後続の最終審査に進みます。
- 一次審査の結果、不適合箇所があった場合は、審査員から事業者へ是正に向けたアドバイスを提示します。
 - ・ 期限内に審査員が是正を確認できた場合 : 後続の最終審査に進みます。
 - ・ 期限内に審査員が是正を確認できない場合 : 事業者へ不合格を通知します。

(補足)

✓ 審査員から事業者へ、内容の問合せをする場合があります。

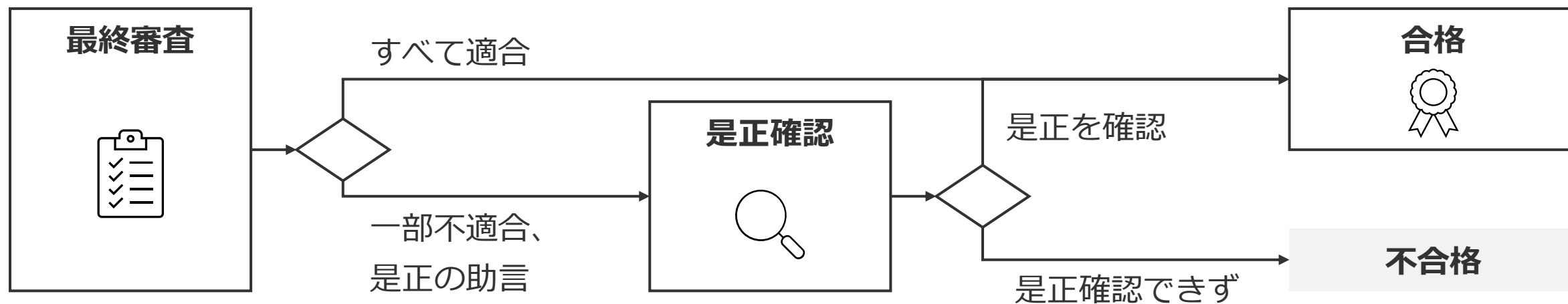


一次審査を通過した場合、当協会の企業審査局で最終審査をします。
合格の場合、合格通知や登録料支払方法等の案内提示があるので、確認の上、登録料を支払います。

- 最終審査の結果、審査対象の全確認項目について適合が認められた場合は、合格を通知します。
- 最終審査の結果、不適合箇所があった場合は、審査員から事業者へ是正に向けたアドバイスを提示します。
 - ・ 期限内に審査員が是正を確認できた場合 : 事業者へ合格を通知します。
 - ・ 期限内に審査員が是正を確認できない場合 : 事業者へ不合格を通知します。

(補足)

✓ 審査員から事業者へ、内容の問合せをする場合があります。



一次審査あるいは最終審査で不合格となった場合でも、再審査費用を支払うことで、再び審査申込をすることが可能です。

NDD認定の有効期限は1年間です。

前回の登録から10カ月を過ぎた時点より、更新審査の申込みができます。

審査範囲や対象項目等がアップデートされる可能性があるため、更新時には最新版資料を確認してください。

1申込単位の費用です。4申込以上の場合は、別途お見積となりますので、ダークパターン対策協会 (enquiry@ndda.net) までご連絡ください。

	大企業	中小企業*1
--	-----	--------

(単位：円)

スコープ① クッキーバナー (1万ページ未満のWebサイト)		
初回審査料	171,000	57,000
再審査料 (不合格時)	108,000	36,000
更新審査料*2	144,000	48,000
スコープ① クッキーバナー (1万ページ以上のWebサイト)		
初回審査料	243,000	81,000
再審査料 (不合格時)	162,000	54,000
更新審査料*2	216,000	72,000
スコープ② 購入前最終確認画面		
初回審査料	153,000	51,000
再審査料 (不合格時)	90,000	30,000
更新審査料*2	108,000	36,000
スコープ共通 組織的対策		
初回審査料	90,000	30,000
再審査料 (不合格時)	54,000	18,000
更新審査料*2	72,000	24,000
登録料		
登録料 (年額)	36,000	12,000

参考：正会員年会費 (一口)	50,000	10,000
----------------	--------	--------

*1：中小企業：資本金（出資金）1億円以下の企業。なお資本金5億円以上大企業の100%子会社等は大企業とみなします。

*2：前年と同じ審査対象、もしくは前年より対象が減った場合の更新審査料。前年と違う範囲の場合は初回審査を受ける必要がございます。

- 条件例1：中小企業
- 条件例2：初回審査
- 条件例3：申込単位
 - ✓ クッキーバナー（1万ページ以上のWebサイト）・・・3申込
 - ✓ 購入前最終確認画面・・・2申込
 - ✓ 組織的対策・・・1申込

この例の場合、初回審査料が375,000円になります。
 $81,000円 * 3申込 + 51,000円 * 2申込 + 30,000円 * 1申込 = 375,000円$

なお、合格後に別途登録料12,000円が必要になります。

中小企業*1

(単位：円)

スコープ① クッキーバナー（1万ページ未満のWebサイト）	
初回審査料	57,000
再審査料（不合格時）	36,000
更新審査料*2	48,000
スコープ① クッキーバナー（1万ページ以上のWebサイト）	
初回審査料	81,000
再審査料（不合格時）	54,000
更新審査料*2	72,000
スコープ② 購入前最終確認画面	
初回審査料	51,000
再審査料（不合格時）	30,000
更新審査料*2	36,000
スコープ共通 組織的対策	
初回審査料	30,000
再審査料（不合格時）	18,000
更新審査料*2	24,000
登録料	
登録料（年額）	12,000

目次

1. NDD認定制度ができた背景
2. NDD認定制度の目的
3. 審査・認定の仕組み
- 4. 認定マークとその種類**
5. 認定マークの表示ルールと仕組み
6. ダークパターン・ホットラインについて
7. 認定取り消しルール
8. 今後のバージョンアップ計画
9. 参考情報

NDD認定制度



NDD認定に合格した場合、審査範囲に沿ってWebサイト上に認定マークを掲示します。認定スコープごとに認定マークのデザインが異なります。

また、認定マークの最下部に、認定継続年数に応じたランク色を表示します。

- ・ゴールドランク：認定継続2年以上
- ・シルバーランク：認定継続1年以上2年未満
- ・ブロンズランク：認定継続1年未満

今後新しい認定範囲が出てきた場合にはアイコンを追加予定。
現時点では、「商品・サービス説明画面」と「個人情報の取扱い」の2類型について、将来審査対象になった際にアイコンを追加する想定。

目次

1. NDD認定制度ができた背景
2. NDD認定制度の目的
3. 審査・認定の仕組み
4. 認定マークとその種類
- 5. 認定マークの表示ルールと仕組み**
6. ダークパターン・ホットラインについて
7. 認定取り消しルール
8. 今後のバージョンアップ計画
9. 参考情報




The screenshot shows a browser window with the URL "sample.com". The main content is a photograph of two potted plants on a wooden table. A blue cookie banner is overlaid at the bottom of the page. The banner contains the following text:

当社では、当社ウェブサイトでの体験を向上させ、コンテンツや広告をパーソナライズし、トラフィックを分析するためにクッキーを使用しています。当社は、お客様の当社ウェブサイトのご利用に関する情報を、当社の広告、分析パートナーと共有しており、そのパートナーは、お客様が提供した他の情報や、お客様のサービス利用から収集した他の情報と組み合わせることがあります。当社ウェブサイトのクッキー設定をカスタマイズするには、「クッキー設定」をクリックしてください。

[クッキーポリシー](#)


On the right side of the banner, there is a circular NDD logo with a green checkmark and the text "NON RECEPTIVE DESIGN NDD 12345678-12". Next to it is a gingerbread man icon with "02" above it and "GOLD" below it. Below these icons are two buttons: "OK" and "クッキー設定". A close button (X) is located in the top right corner of the banner.

Consent Banner




パーソナライズし、ソーシャルメディア機能を提供し、トラフィックを分析します。パーソナライズし、ソーシャルメディア機能を提供し、トラフィックを分析します。パーソナライズし、ソーシャルメディア機能を提供し、トラフィックを分析します。パーソナライズし、ソーシャルメディア機能を提供し、トラフィックを分析します。パーソナライズし、ソーシャルメディア機能を提供し、トラフィックを分析します。パーソナライズし、ソーシャルメディア機能を提供し、トラフィックを分析します。 [Privacy Setting Bannerを開く](#)、[リンク先に遷移](#)

[Re-Select Country and Age](#) [Cookieポリシー](#)



12345678-12



GOLD

[詳細設定](#)

[全てを拒否する](#)

[全てを許可する](#)

▶ カテゴリ別に許可/拒否する

electornics

注文内容の最終確認（TV）

[TOPページ](#) / [注文内容の最終確認（TV）](#)



**50V型フルハイビジョン
液晶テレビ**

数量：1

価格：68,800円

鮮明なフルHD映像とクリアな音質を提供します。薄型デザインで省スペースに設置可能、LEDバックライトで省エネ効果も抜群。HDMI端子やUSBポートを搭載し、さまざまなデバイスとの接続が簡単に行えます。

■小計 (税込)
68,800円

■送料 (税込)
無料

■合計 (税込)
68,800円

■お支払い方法・お支払い時期について

お支払いはクレジットカード決済となります。お支払い時期は、ご利用のクレジットカード会社の定める条件をご確認ください。

■お届けする製品・お届け時期について

- 液晶テレビ：1体 本商品の使用に必要な付属品（ケーブル・電源コード）：2本 をお届けいたします。
- クレジットカードによる決済完了後、3日以内に発送いたします。

■ご注文完了後のキャンセル・返品について

- ご注文完了後24時間以内**
無料でキャンセルいただけます。
注文確定メールに記載のURLよりキャンセル手続きをお願いします。
- 24時間経過後**
商品に初期不良や不具合がある場合を除き、返金・交換・修理は承っておりません。
初期不良や不具合がある場合には、新品との交換で対応いたします。着払いにて以下にご返送ください。
返送先：electronics 商品担当部 123-4567東京都XX区XXXX XX-XX
初期不良や不具合であっても、返金・修理はできかねますのでご了承ください。



12345678-12

03



GOLD

注文を確定する

[TOPページに戻る](#)



sample.com

ホーム > IRトップ > 統合報告 > コーポレート・ガバナンス

ガバナンスについて

内部統制の枠組み

当社は、COSOフレームワークに準拠し、リスクの評価・制御・モニタリング等により業務の適正性を確保しています。経営層による統制環境の醸成や、部門横断的な業務報告・監視体制を通じ、財務報告および法令遵守の信頼性を高めています。



サステナビリティ推進に係る体制

当社は、環境・社会・ガバナンス(ESG)を企業戦略の中核に位置づけ、持続可能な成長を実現するための体制を構築しています。具体的には、社長執行役員を委員長とする「サステナビリティ委員会」を設置し、全社的なESG戦略の策定と推進を担っています。この委員会は、各事業部門やコーポレート部門と連携し、中長期目標の設定、具体的な施策の立案・実行、進捗のモニタリングを行っています。

また、ESG実行委員会をはじめとする傘下委員会を通じて、各テーマに特化した取り組みを推進し、定期的な評価と改善を行っています。これにより、ESG課題への対応を組織全体で一体的に進め、ステークホルダーとの信頼関係の構築と企業価値の向上を目指しています。

さらに、当社はESG活動の透明性を確保するため、定期的な情報開示を行い、外部からの評価を受けるとともに、社内外の意見を積極的に取り入れています。これらの取り組みを通じて、社会的責任を果たし、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

ダークパターン対策に係る体制

当社は、消費者の自由な意思決定を尊重し、消費者志向経営を実践する視点から、ダークパターン対策に取り組んでおり、**NDD認定（非ダークパターン認定）**マークを取得しています。全社におけるダークパターン対策を統括する管掌役員のもと、社内に**ダークパターン対策チーム**を設置し、WebサービスのUI/UXの設計段階におけるレビュー及びWebサービスリリース時におけるレビュー体制を確立しています。また、万が一ダークパターンが疑われた場合に速やかに調査・是正を行う社内フロー・プロセスを整備し、継続的な改善サイクルを回すことで、ダークパターンが生み出されるリスクの低減と、消費者への透明性の確保に努めています。

当社では、当社ウェブサイトでの体験を向上させ、コンテンツや広告をパーソナライズし、トラフィックを分析するためにクッキーを使用しています。
当社は、お客様の当社ウェブサイトのご利用に関する情報を、当社の広告、分析パートナーと共有しており、
そのパートナーは、お客様が提供した他の情報や、お客様のサービス利用から収集した他の情報と組み合わせることがあります。
当社ウェブサイトのクッキー設定をカスタマイズするには、「クッキー設定」をクリックしてください。

[クッキーポリシー](#)

NDD認定番号:12345678-12

OK

クッキー設定

Consent Banner

パーソナライズし、ソーシャルメディア機能を提供し、トラフィックを分析します。パーソナライズし、ソーシャルメディア機能を提供し、トラフィックを分析します。パーソナライズし、ソーシャルメディア機能を提供し、トラフィックを分析します。パーソナライズし、ソーシャルメディア機能を提供し、トラフィックを分析します。パーソナライズし、ソーシャルメディア機能を提供し、トラフィックを分析します。パーソナライズし、ソーシャルメディア機能を提供し、トラフィックを分析します。 [Privacy Setting Bannerを開く](#)、[リンク先に遷移](#)

[Re-Select Country and Age](#) [Cookieポリシー](#)

[NDD認定番号:12345678-12](#) [詳細設定](#) [全てを拒否する](#) [全てを許可する](#)

▶ カテゴリ別に許可/拒否する

electornics

注文内容の最終確認（TV）

🏠 [TOPページ](#) / [注文内容の最終確認（TV）](#)



**50V型フルハイビジョン
液晶テレビ**

数量：1

価格：68,800円

鮮明なフルHD映像とクリアな音質を提供します。薄型デザインで省スペースに設置可能、LEDバックライトで省エネ効果も抜群。HDMI端子やUSBポートを搭載し、さまざまなデバイスとの接続が簡単に行えます。

■小計（税込）	68,800円
■送料（税込）	無料
■合計（税込）	68,800円

■お支払い方法・お支払い時期について

お支払い方法はクレジットカード決済となります。お支払い時期は、ご利用のクレジットカード会社の定める条件をご確認ください。

■お届けする製品・お届け時期について

- 液晶テレビ：1体 本商品の使用に必要な付属品（ケーブル・電源コード）：2本 をお届けいたします。
- クレジットカードによる決済完了後、3日以内に発送いたします。

■ご注文完了後のキャンセル・返品について

- ご注文完了後24時間以内
無料でキャンセルいただけます。
注文確定メールに記載のURLよりキャンセル手続きをお願いします。
- 24時間経過後
商品に初期不良や不具合がある場合を除き、返金・交換・修理は承っておりません。
初期不良や不具合がある場合には、新品との交換で対応いたします。着払いにて以下にご返送ください。
返送先：electornics 商品担当部 123-4567東京都XX区XXXX XX-XX
初期不良や不具合であっても、返金・修理はできかねますのでご了承ください。

注文を確定する

[TOPページに戻る](#)

[NDD認定番号12345678-12](#)

← → G sample.com シークレット

ホーム > IRトップ > 統合報告 > コーポレート・ガバナンス

ガバナンスについて

内部統制の枠組み

当社は、COSOフレームワークに準拠し、リスクの評価・制御・モニタリング等により業務の適正性を確保しています。経営層による統制環境の醸成や、部門横断的な業務報告・監視体制を通じ、財務報告および法令遵守の信頼性を高めています。

サステナビリティ推進に係る体制

当社は、環境・社会・ガバナンス(ESG)を企業戦略の中核に位置づけ、持続可能な成長を実現するための体制を構築しています。具体的には、社長執行役員を委員長とする「サステナビリティ委員会」を設置し、全社的なESG戦略の策定と推進を担っています。この委員会は、各事業部門やコーポレート部門と連携し、中長期目標の設定、具体的な施策の立案・実行、進捗のモニタリングを行っています。

また、ESG実行委員会をはじめとする傘下委員会を通じて、各テーマに特化した取り組みを推進し、定期的な評価と改善を行っています。これにより、ESG課題への対応を組織全体で一体的に進め、ステークホルダーとの信頼関係の構築と企業価値の向上を目指しています。

さらに、当社はESG活動の透明性を確保するため、定期的な情報開示を行い、外部からの評価を受けるとともに、社内外の意見を積極的に取り入れています。これらの取り組みを通じて、社会的責任を果たし、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

ダークパターン対策に係る体制

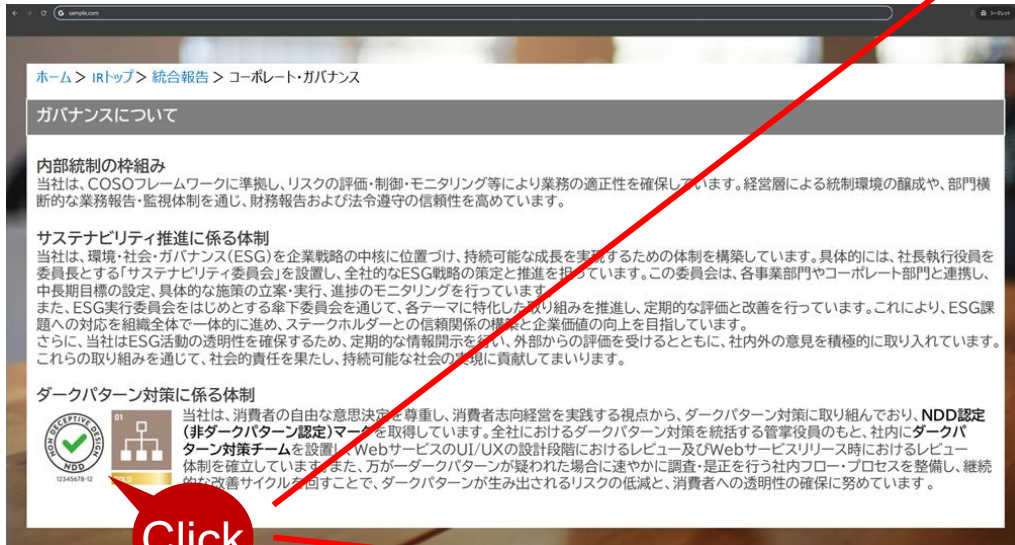
NDD認定番号12345678-12

当社は、消費者の自由な意思決定を尊重し、消費者志向経営を実践する視点から、ダークパターン対策に取り組んでおり、**NDD認定（非ダークパターン認定）マーク**を取得しています。全社におけるダークパターン対策を統括する管掌役員のもと、社内に**ダークパターン対策チーム**を設置し、WebサービスのUI/UXの設計段階におけるレビュー及びWebサービスリリース時におけるレビュー体制を確立しています。また、万が一ダークパターンが疑われた場合に速やかに調査・是正を行う社内フロー・プロセスを整備し、継続的な改善サイクルを回すことで、ダークパターンが生み出されるリスクの低減と、消費者への透明性の確保に努めています。

ポップアップで
NDD認定情報を表示

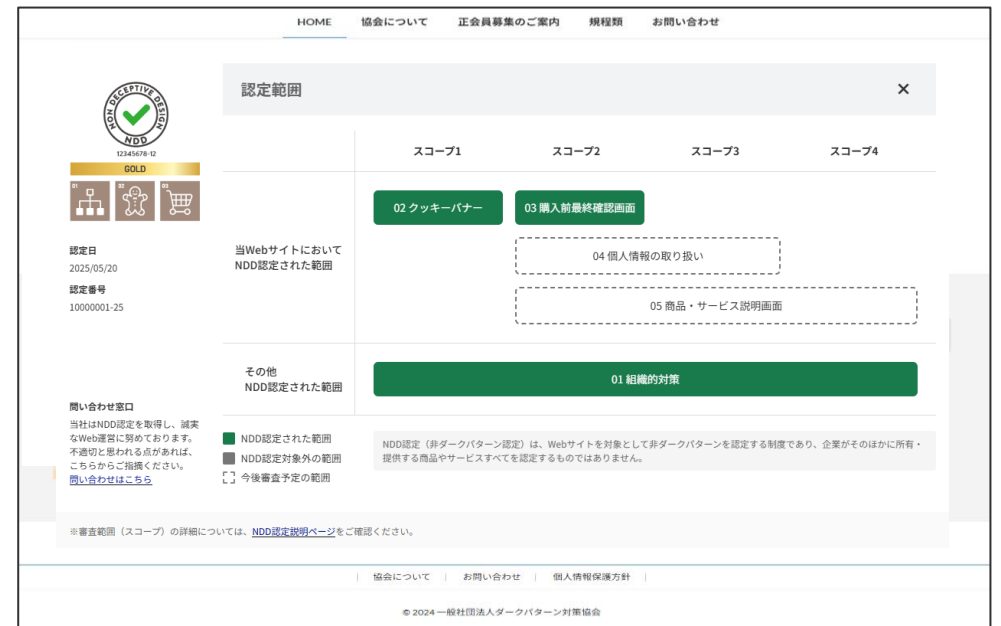
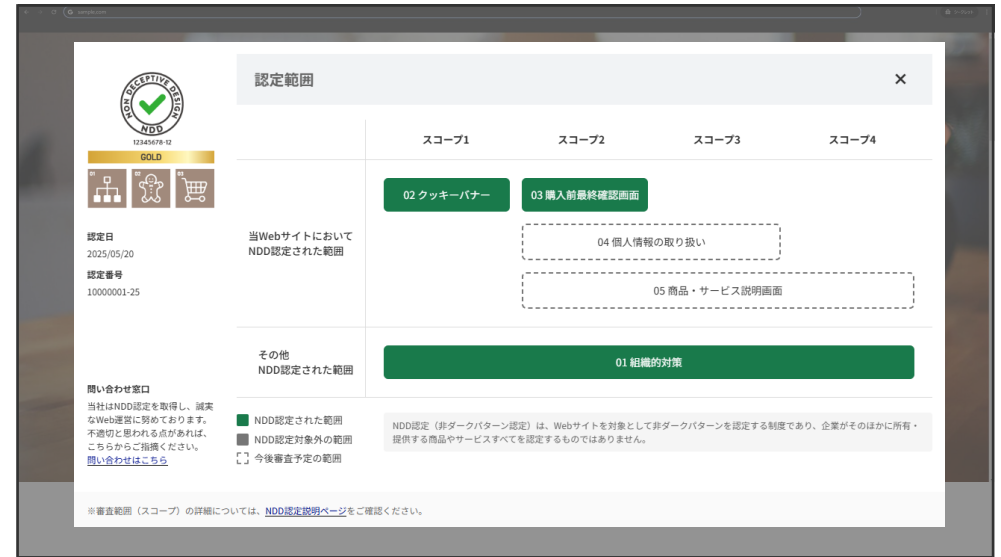
事業者側で選択

別ページに遷移し
NDD認定情報を表示



Click

認定マークをクリック
(組織的対策認定の画面の例)





認定日
2025/05/20

認定番号
10000001-25

問い合わせ窓口

当社はNDD認定を取得し、誠実なWeb運営に努めております。不適切と思われる点があれば、こちらからご指摘ください。

[問い合わせはこちら](#)

認定範囲 ×				
	スコープ1	スコープ2	スコープ3	スコープ4
当Webサイトにおいて NDD認定された範囲	02 クッキーバナー	03 購入前最終確認画面		04 個人情報の取り扱い 05 商品・サービス説明画面
その他 NDD認定された範囲	01 組織的対策			

- NDD認定された範囲
- NDD認定対象外の範囲
- 今後審査予定の範囲

NDD認定（非ダークパターン認定）は、Webサイトを対象として非ダークパターンを認定する制度であり、企業がそのほかに所有・提供する商品やサービスすべてを認定するものではありません。

※審査範囲（スコープ）の詳細については、[NDD認定説明ページ](#)をご確認ください。





12345678-12
GOLD

01
🏢

03
🛒

認定日
2022/01/01

認定範囲 ×

スコープ1	スコープ2	スコープ3	スコープ4
02 クッキーバナー	03 購入前最終確認画面		
	04 個人情報の取り扱い		
		05 商品・サービス説明画面	

その他
NDD認定された範囲

01 組織的対策

認定済の場合は緑色、未認定の場合はグレーで表示。

認定済のアイコンのみが表示（左詰め表示）。
例：認定範囲が以下2つの場合
01：組織的対策
03：購入前確認画面

お問い合わせ窓口

当社はNDD認定を取得し、誠実なWeb運営に努めております。不適切と思われる点があれば、こちらからご指摘ください。
[お問い合わせはこちら](#)

※お問い合わせ先メールアドレスを表記することも可能。

■ NDD認定された範囲
■ NDD認定対象外の範囲
□ 今後審査予定の範囲

NDD認定（非ダークパターン認定）は、Webサイトを対象として非ダークパターンを認定する制度であり、企業がそのほかに所有・提供する商品やサービスすべてを認定するものではありません。

[NDD認定説明ページ](#)をご確認ください。

Under Review
GOLD

是正対応中の場合は、審査中のステータスを示すワッペン（Under Review）を表示。

是正対応中のため、認定日・認定番号は表示されない。

是正対応中の場合は元々認定されていた範囲もグレーで表示。

当WebサイトにおいてNDD認定された範囲

その他NDD認定された範囲

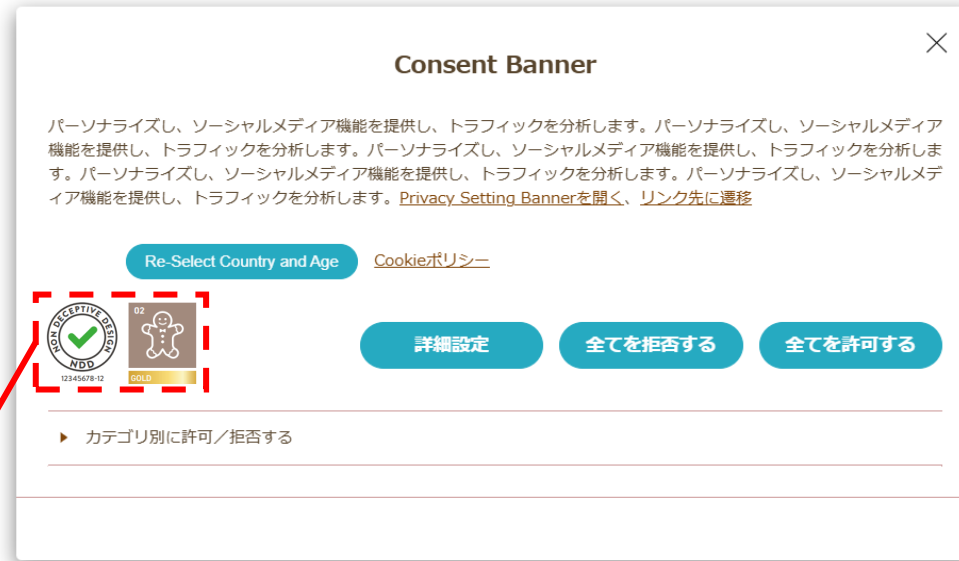
■ NDD認定された範囲

■ NDD認定対象外の範囲

□ 今後審査予定の範囲

NDD認定（非ダークパターン認定）は、Webサイトを対象として非ダークパターンを認定する制度であり、企業がそのほかに所有・提供する商品やサービスすべてを認定するものではありません。

※審査範囲（スコープ）の詳細については、[NDD認定説明ページ](#)をご確認ください。



認定マークをクリック



認定範囲や窓口情報等を表示

(ポップアップ or ページ遷移)

※NDD未認定にもかかわらずフェイクの認定マーク画像を作成する事業者がいた場合も、認定マークをクリックし認定情報画面が表示されるかどうかで判別が可能。



認定期限が切れた場合など、認定されていない状況では認定マーク自体が表示されない（ポップアップのNDD認定情報は呼び出せない）。



認定期限が切れた場合など、認定されていない状況ではテキストリンクが残るが、ポップアップのNDD認定情報は呼び出せない。



1. NDD認定制度ができた背景
2. NDD認定制度の目的
3. 審査・認定の仕組み
4. 認定マークとその種類
5. 認定マークの表示ルールと仕組み
- 6. ダークパターン・ホットラインについて**
7. 認定取り消しルール
8. 今後のバージョンアップ計画
9. 参考情報

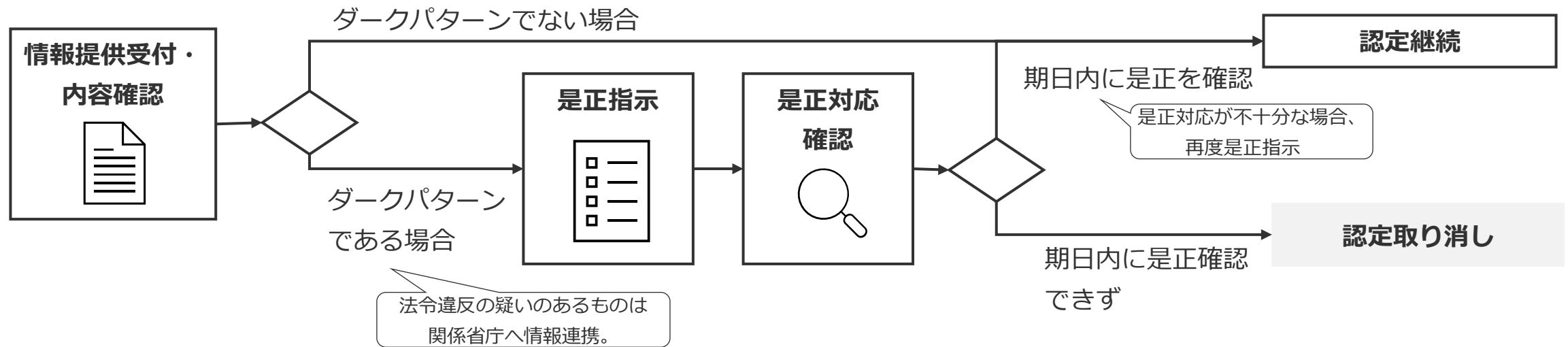
ダークパターン・ホットラインとは？

- NDD認定を受けた事業者の中には、ダークパターン化が確認されるケースも想定されます。そうした実態を早期に把握するため、一般消費者からの目撃・体験情報を受け付け、必要に応じて改善指示や認定取消を行うことで、NDD認定制度の信頼性を確保し、消費者の保護を図ることが目的です。
- 情報提供者からは対象のURL、問題の内容、証拠となる画像・動画などの情報を提供してもらう想定です。

情報提供受付から認定継続・取消までのフロー

消費者から情報提供を受けたのち当協会側にて内容を確認し、ダークパターンと判断した場合は事業者側に是正指示を行います。

期日内に改善した場合は認定を継続し、改善がなされなかった場合は認定を取り消します。



1. NDD認定制度ができた背景
2. NDD認定制度の目的
3. 審査・認定の仕組み
4. 認定マークとその種類
5. 認定マークの表示ルールと仕組み
6. ダークパターン・ホットラインについて
- 7. 認定取り消しルール**
8. 今後のバージョンアップ計画
9. 参考情報

当協会の対応

NDD認定済みサイトに関するダークパターンの情報提供を受領



ダークパターンを確認した場合、当該事業者の責任者へ是正指示



是正指示から30日以内には是正完了報告が無い場合、NDD認定を取り消し

NDD認定済みサイトに関する
ダークパターンの情報提供を受領



ダークパターンを確認した場合、
当該事業者の責任者へ是正指示



是正指示から30日以内に
是正完了報告が無い場合、NDD認定を取り消し

ダークパターン・ホットラインに連絡があり、当協会が確認する限り、明らかにダークパターンと認められる場合、当協会から当該事業者のダークパターン対策責任者へ是正を指示します。

是正指示中は認定マークに「是正対応中」の旨を表示します。
指示から30日以内に是正策の適用、および当協会への是正完了報告が確認できない場合は認定を取り消します。

当協会の対応

NDD認定済みサイトに関するダークパターンの情報提供を受領



ダークパターンを確認した場合、当該事業者の責任者へ是正指示



是正完了報告の受領後、再びダークパターンの情報提供を受領



監視対象リストへの追加、および状況次第で関連省庁や融資元銀行へ連絡

NDD認定済みサイトに関する
ダークパターンの情報提供を受領

ダークパターンを確認した場合、
当該事業者の責任者へ是正指示

是正完了報告の受領後、
再びダークパターンの情報提供を受領

監視対象リストへの追加、および状況次第で
関連省庁や融資元銀行へ連絡

ダークパターン・ホットラインに2度目の情報提供があった段階で、当該**事業者Webサイトを監視対象**とします。

是正修正後にダークパターンへ戻ることが繰り返されるなど悪質性が高い事業の場合、画面遷移の証拠とともに消費者庁をはじめ**関係省庁に通報するとともに、認定を取り消します**。関係省庁から行政処分がなされる可能性があります。

同様に、融資元銀行へ情報連携の上、融資見直しがなされる可能性があります。

1. NDD認定制度ができた背景
2. NDD認定制度の目的
3. 審査・認定の仕組み
4. 認定マークとその種類
5. 認定マークの表示ルールと仕組み
6. ダークパターン・ホットラインについて
7. 認定取り消しルール
- 8. 今後のバージョンアップ計画**
9. 参考情報

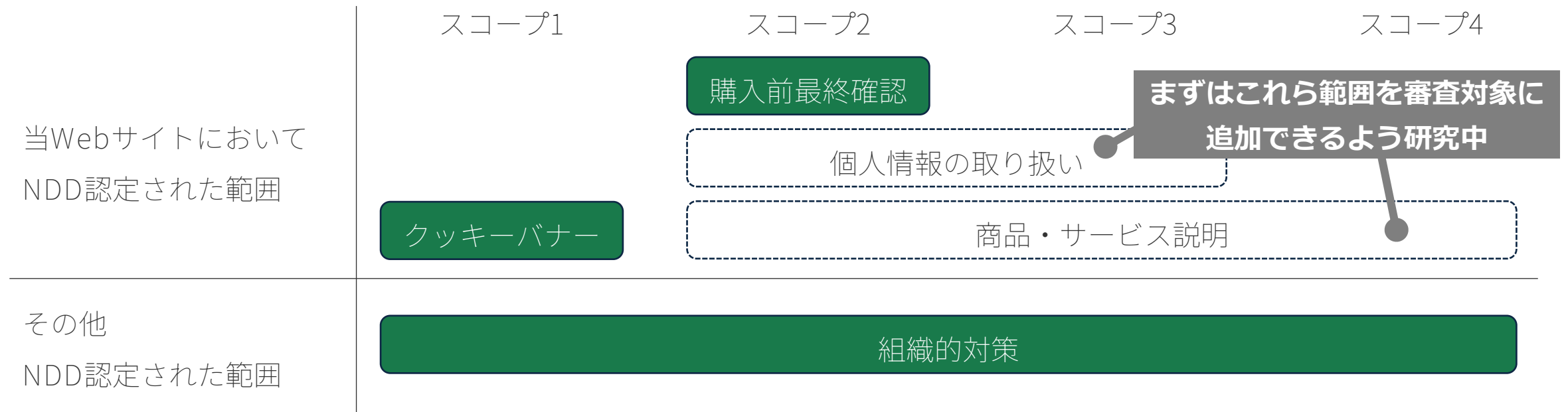
今後のバージョンアップ計画

「一定の条件を満たす場合はダークパターンになる」という線引きが可能になったWebサイト上での場面や消費者の導線、文言の組み合わせなどを審査対象に追加していきます。

Ver1.1では「審査員によって判断が分らないダークパターン」を審査対象とします。

以降のバージョンアップにおいては、「一定の条件を満たす場合はダークパターンになる」ということを明確に言語化、線引きができたものをガイドラインで詳述し、審査対象に加えていきます。

NDD認定範囲を示すスタック図



1. NDD認定制度ができた背景
2. NDD認定制度の目的
3. 審査・認定の仕組み
4. 認定マークとその種類
5. 認定マークの表示ルールと仕組み
6. ダークパターン・ホットラインについて
7. 認定取り消しルール
8. 今後のバージョンアップ計画
- 9. 参考情報**


クッキーバナーの自己審査にて、**ブラウザの開発者ツールで確認する項目があるため、一般的な手順を紹介する。**

- a. オプトアウト設定した後に、クッキーが無効化されていることの確認手順
- b. オプトインするまでは、クッキー取得が機能していないことの確認手順

a. オプトアウト設定した後に、クッキーが無効化されていることの確認手順

1. Chromeのブラウザのシークレットモード（「Ctrl + Shift + N」）を開き、下部の手順に従って「サードパーティーのCookieへのアクセスを一時的に許可」





シークレットモードです

あなたのアクティビティはこのデバイスを使用する他のユーザーに表示されないため、プライバシーを守りながらブラウジングできます。アクセスしたウェブサイトと、そのウェブサイトが使用するサービス（Googleを含む）のデータ収集方法は変更されません。ダウンロードしたファイル、ブックマーク、リーディングリストは保存されます。 [詳細](#)

Chrome に以下の情報は保存されません。

- 閲覧履歴
- Cookie とサイトデータ
- フォームに入力した情報

ただし、次の相手にあなたのアクティビティが知られる可能性があります。

- 訪問先のウェブサイト
- 雇用主または学校
- ご利用のインターネット サービス プロバイダ

サードパーティ Cookie がブロックされています

シークレットモードでは、サイトはサードパーティ Cookie を使用できません。これらの Cookie を使用するサイトが動作しない場合は、[サイトにサードパーティ Cookie へのアクセスを一時的に許可](#)できます。

サードパーティーCookieを一時的に許可する手順を確認

a. オプトアウト設定した後に、クッキーが無効化されていることの確認手順

2. 対象Webサイトにアクセスし、以下の設定から、サードパーティーCookieの許可をONにする

①このアイコンをクリック

②Cookieとサイトデータを選択

③サードパーティーCookieの許可をONにする
⇒その後、一度ページを再読み込み



メディア
プラ【メディア掲載・出演】2026年2月19日放送 テレビ大阪 New!!



ホットライン
第2回ホットライン報告レポートを公開しました New!!



メディア
総務省「DIGITAL POSITIVE ACTION」のサイトにコラムが掲載されました



プレスリリース
「NDD認定制度」第1号企業認定・学校教育、社会啓発を通じたダークパターンの対策を支援

a. オプトアウト設定した後に、クッキーが無効化されていることの確認手順

3. Webサイトにアクセスし、クッキーバナーでオプトアウト（クッキー拒否ボタンを押す等）

※下記の例では、カテゴリ「アクセス解析」をオプトアウト

The image shows a side-by-side comparison of a cookie consent dialog. On the left, the 'Access Analysis' toggle is turned on (blue). On the right, it is turned off (grey). A red arrow points from the 'on' state to the 'off' state, and a pink arrow points from the 'on' state to the 'Save Settings' button in the 'off' state.

クッキー設定（プライバシー設定）

お客様が当ウェブサイトを訪問される際、お客様のブラウザ上にクッキーなどの情報を保存、あるいはお客様のブラウザ上からクッキーなどの情報を取得することがあります。この情報は、お客様、お客様の好み、またはお客様のデバイスに関するものであり、多くの場合はサイトを期待通りに機能させるために使用されます。通常、この情報は特定のユーザーを直接識別するものではありませんが、よりパーソナライズされたウェブ体験をユーザーに提供します。お客様は、当社がお客様の情報を当社のパートナーと共有することについて拒否（オプトアウト）する権利を有しています。以下、クッキーのカテゴリごとの見出しをクリックして詳細を確認後、初期設定を変更頂けます。ただし、当社のウェブサイトが適切に機能するために必須のクッキー（たとえば、クッキーバナーを表示し、お客様が選択した設定を記憶するために必要なクッキー等）については拒否することはできません。また、一部の種類のクッキーをブロックすると、お客様のウェブ体験や当社が提供できるサービスに影響を及ぼす場合があります。

+ 必須 常にアクティブ

▼ **アクセス解析**

Google LLC（Googleアナリティクス）

クッキーを利用するサービスの目的：
ウェブサイトのパフォーマンスを分析し、改善に役立てるため、サイト利用者に関する情報を収集し、Googleへ送信します。Googleでは、送信された情報を分析、統計化し、ウェブサイトのパフォーマンスに関するレポートを当社に提供します。また、Googleでは、これらの情報をGoogle独自のサービス・プロダクトの改善を目的として利用する場合があります。

取得される利用者情報：
クライアントID、IPアドレス、閲覧ページURL、リファラー、デバイスタイプ、OS情報、ブラウザタイプ、利用言語、画像解像度

全てのクッキーを受け入れる 必須クッキー以外のクッキーを拒否する **設定を保存する**

クッキー設定（プライバシー設定）

お客様が当ウェブサイトを訪問される際、お客様のブラウザ上にクッキーなどの情報を保存、あるいはお客様のブラウザ上からクッキーなどの情報を取得することがあります。この情報は、お客様、お客様の好み、またはお客様のデバイスに関するものであり、多くの場合はサイトを期待通りに機能させるために使用されます。通常、この情報は特定のユーザーを直接識別するものではありませんが、よりパーソナライズされたウェブ体験をユーザーに提供します。お客様は、当社がお客様の情報を当社のパートナーと共有することについて拒否（オプトアウト）する権利を有しています。以下、クッキーのカテゴリごとの見出しをクリックして詳細を確認後、初期設定を変更頂けます。ただし、当社のウェブサイトが適切に機能するために必須のクッキー（たとえば、クッキーバナーを表示し、お客様が選択した設定を記憶するために必要なクッキー等）については拒否することはできません。また、一部の種類のクッキーをブロックすると、お客様のウェブ体験や当社が提供できるサービスに影響を及ぼす場合があります。

+ 必須 常にアクティブ

▼ **アクセス解析**

Google LLC（Googleアナリティクス）

クッキーを利用するサービスの目的：
ウェブサイトのパフォーマンスを分析し、改善に役立てるため、サイト利用者に関する情報を収集し、Googleへ送信します。Googleでは、送信された情報を分析、統計化し、ウェブサイトのパフォーマンスに関するレポートを当社に提供します。また、Googleでは、これらの情報をGoogle独自のサービス・プロダクトの改善を目的として利用する場合があります。

取得される利用者情報：
クライアントID、IPアドレス、閲覧ページURL、リファラー、デバイスタイプ、OS情報、ブラウザタイプ、利用言語、画像解像度

全てのクッキーを受け入れる 必須クッキー以外のクッキーを拒否する **設定を保存する**

a. オプトアウト設定した後に、クッキーが無効化されていることの確認手順

4. ブラウザの開発者ツールで、実際にWebサイトで発行されているクッキー一覧を表示

The screenshot shows a web browser at the URL `otttest3.bizrisk.ijj.jp`. The page content includes the heading "ENGINEERS BLOG" and the sub-heading "技術情報". Below the heading is a photograph of a succulent in a dark pot. The browser's developer tools are open to the "Application" tab, showing a list of cookies for the current page.

名前	値	Domain	Path	Expires ...	サイズ	HttpOnly	Secure	SameSite	Partitio...	Cross S...	Priority
Strictly Necessary Cookies	1	otttest3...	/	セッション	27						Medium
_ga	GA1.1.1562166441.1740124443	.ijj.jp	/	2026-0...	30						Medium
_ga_CBJMPVDDMM0	GS1.1.1740124443.1.1.1740124531.0.0.0	.ijj.jp	/	2026-0...	51						Medium
_ga_WD7NXR7ZN1	GS1.1.1740124443.1.1.1740124531.0.0.0	.ijj.jp	/	2026-0...	51						Medium

Below the table, there is a message: "値をプレビューする Cookie を選択します"

a. オプトアウト設定した後に、クッキーが無効化されていることの確認手順

4. この状態で、一旦Webサイトをリロード（再読み込み）する

The screenshot shows a browser window with the URL 'otttest3.bizrisk.ij.jp'. A pink callout box with the text 'リロード' (Reload) points to the refresh button in the address bar. Below the browser window, the Chrome DevTools 'Cookie' panel is open, displaying a table of cookies for the domain 'otttest3.bizrisk.ij.jp'.

名前	値	Domain	Path	Expires ...	サイズ	HttpOnly	Secure	SameSite	Partitio...	Cross S...	Priority
Strictly Necessary Cookies	1	otttest3...	/	セッション	27						Medium
_ga	GA1.1.1562166441.1740124443	.ij.jp	/	2026-0...	30						Medium
_ga_CBJMPVDM0	GS1.1.1740124443.1.1.1740124531.0.0.0	.ij.jp	/	2026-0...	51						Medium
_ga_WD7NXR7Z1	GS1.1.1740124443.1.1.1740124531.0.0.0	.ij.jp	/	2026-0...	51						Medium

値をプレビューする Cookie を選択します

a. オプトアウト設定した後に、クッキーが無効化されていることの確認手順

5. オプトアウト前に発行されていたクッキー情報が残っているため、クッキーを削除する

※必須クッキーは削除しない

The screenshot shows the Chrome DevTools Application tab with the 'Cookie' section selected. The following table represents the data shown in the cookie list:

名前	値	Domain	Path	Expires ...	サイズ	HttpOnly	Secure	SameSite	Partitio...	Cross S...	Priority
Strictly Necessary Cookies	1	otttest3....	/	セッション	27						Medium
_ga	GA1.1.1562166441.1740124443	.ij.jp	/	2026-0...	30						Medium
_ga_CBJMPVDM0	GS1.1.1740124443.1.1.1740124531.0.0.0	.ij.jp	/	2026-0...	51						Medium
_ga_WD7NXR7Z1	GS1.1.1740124443.1.1.1740124531.0.0...				51						Medium

A callout box with the text "右クリック →delete" points to the selected '_ga' cookie row.

a. オプトアウト設定した後に、クッキーが無効化されていることの確認手順

5. オプトアウト前に発行されていたクッキー情報が残っているため、クッキーを削除する

※必須クッキーは削除しない

The screenshot shows the Chrome DevTools interface with the 'Application' tab selected and the 'Cookies' sub-tab active. The browser window displays 'ENGINEERS BLOG' with the subtitle '技術情報'. The Cookies table lists one cookie: 'Strictly Necessary Cookies' with a value of '1', domain 'ottest3...', and path '/'. A red rectangular box highlights this row. A white callout box with a pink border points to the row, containing the text: '今回の例では、Googleアナリティクスのクッキーを削除'.

名前	値	Domain	Path	Expires ...	サイズ	HttpOnly	Secure	SameSite	Partitio...	Cross S...	Priority
Strictly Necessary Cookies	1	ottest3...	/	セッション	27						Medium

a. オプトアウト設定した後に、クッキーが無効化されていることの確認手順

6. 削除後、Webサイトをリロード（再読み込み）する

The screenshot shows a web browser at the URL `ottest3.bizrisk.ij.jp`. A pink callout box with the text **リロード** (Reload) points to the refresh button in the address bar. Below the browser window, the Chrome DevTools 'Cookie' panel is open, showing a table of cookies for the domain `ottest3...`.

名前	値	Domain	Path	Expires ...	サイズ	HttpOnly	Secure	SameSite	Partitio...	Cross S...	Priority
Strictly Necessary Cookies	1	ottest3...	/	セッション	27						Medium

Cookie Value デコードされた URL を表示する
1

a. オプトアウト設定した後に、クッキーが無効化されていることの確認手順

7. オプトアウトしたクッキーは発行されていないことを確認する

※もしオプトアウトしたクッキーが発行されている場合は、正しく制御できていないことになる

The screenshot shows the Chrome DevTools Application tab with the 'Cookie' section selected. The table below shows the cookies for the domain 'ottest3.bizrisk.ij.jp'.

名前	値	Domain	Path	Expires ...	サイズ	HttpOnly	Secure	SameSite	Partitio...	Cross S...	Priority
Strictly Necessary Cookies	1	ottest3...	/	セッション	27						Medium

The area below the table, where other cookies would be listed, is empty and highlighted with a red box. A callout box points to this area with the text: **正しく制御できていれば、オプトアウトしたクッキーは表示されない**

b. オプトインするまでは、クッキー取得が機能していないことの確認手順

1. オプトイン前では、必須クッキー以外のクッキーが発行されていないことを確認する (クッキーバナーで、クッキー発行「オフ」の状態をチェック)

クッキー設定 (プライバシー設定)

お客様が当ウェブサイトを訪問される際、お客様のブラウザ上にクッキーなどの情報を保存、あるいはお客様のブラウザ上からクッキーなどの情報を取得することがあります。この情報は、お客様、お客様の好み、またはお客様のデバイスに関するものであり、多くの場合はサイトを期待通りに機能させるために使用されます。通常、この情報は特定のユーザーを直接識別するものではありませんが、よりパーソナライズされたウェブ体験をユーザーに提供します。お客様は、当社がお客様の情報を当社のパートナーと共有することについて拒否（オプトアウト）する権利を有しています。以下、クッキーのカテゴリごとの見出しをクリックして詳細を確認後、初期設定を変更頂けます。ただし、当社のウェブサイトが適切に機能するために必須のクッキー（たとえば、クッキーバナーを表示し、お客様が選択した設定を記憶するために必要なクッキー等）については拒否することはできません。また、一部の種類のクッキーをブロックすると、お客様のウェブ体験や当社が提供できるサービスに影響を及ぼす場合があります。

+ 必須 常にアクティブ

▼ **アクセス解析**

Google LLC (Googleアナリティクス)

クッキーを利用するサービスの目的：
ウェブサイトのパフォーマンスを分析し、改善に役立てるため、サイト利用者に関する情報を収集し、Googleへ送信します。Googleでは、送信された情報を分析、統計化し、ウェブサイトのパフォーマンスに関するレポートを当社に提供します。また、Googleでは、これらの情報をGoogle独自のサービス・プロダクトの改善を目的として利用する場合があります。

取得される利用者情報：
クライアントID、IPアドレス、閲覧ページURL、リファラー、デバイスタイプ、OS情報、ブラウザタイプ、利用言語、画像解像度

b. オプトインするまでは、クッキー取得が機能していないことの確認手順

2. オプトイン前では、必須クッキー以外のクッキーが発行されていないことを確認する (ブラウザの開発者ツールで確認)

The screenshot shows a browser window with the developer tools open. The page is titled "ENGINEERS BLOG" and the URL is "otttest3.bizrisk.ijj.jp". The developer tools are set to the "Application" tab, and the "Cookies" section is expanded. The Cookies table shows one cookie:

名前	値	Domain	Path	Expires ...	サイズ	HttpOnly	Secure	SameSite	Partitio...	Cross S...	Priority
Strictly Necessary Cookies	1	otttest3...	/	セッション	27						Medium

Below the table, the "Cookie Value" section shows the value "1".

b. オプトインするまでは、クッキー取得が機能していないことの確認手順

3. クッキーバナーでオプトイン（クッキー同意ボタンを押す等）を実施し、必須クッキー以外が追加で発行されていることを確認する（下記の例では、カテゴリ「アクセス解析」をオプトイン）

クッキー設定（プライバシー設定）

お客様が当ウェブサイトを訪問される際、お客様のブラウザ上にクッキーなどの情報を保存、あるいはお客様のブラウザ上からクッキーなどの情報を取得することがあります。この情報は、お客様、お客様の好み、またはお客様のデバイスに関するものであり、多くの場合はサイトを期待通りに機能させるために使用されます。通常、この情報は特定のユーザーを直接識別するものではありませんが、よりパーソナライズされたウェブ体験をユーザーに提供します。お客様は、当社がお客様の情報を当社のパートナーと共有することについて拒否（オプトアウト）する権利を有しています。以下、クッキーのカテゴリごとの見出しをクリックして詳細を確認後、初期設定を変更頂けます。ただし、当社のウェブサイトが適切に機能するために必須のクッキー（たとえば、クッキーバナーを表示し、お客様が選択した設定を記憶するために必要なクッキー等）については拒否することはできません。また、一部の種類のクッキーをブロックすると、お客様のウェブ体験や当社が提供できるサービスに影響を及ぼす場合があります。

+ 必須 常にアクティブ

▼ **アクセス解析**

Google LLC（Googleアナリティクス）

クッキーを利用するサービスの目的：
ウェブサイトのパフォーマンスを分析し、改善に役立てるため、サイト利用者に関する情報を収集し、Googleへ送信します。Googleでは、送信された情報を分析、統計化し、ウェブサイトのパフォーマンスに関するレポートを当社に提供します。また、Googleでは、これらの情報をGoogle独自のサービス・プロダクトの改善を目的として利用する場合があります。

取得される利用者情報：
クライアントID、IPアドレス、閲覧ページURL、リファラー、デバイスタイプ、OS情報、ブラウザタイプ、利用言語、画像解像度

全てのクッキーを受け入れる 必須クッキー以外のクッキーを拒否する 設定を保存する

クッキー設定（プライバシー設定）

お客様が当ウェブサイトを訪問される際、お客様のブラウザ上にクッキーなどの情報を保存、あるいはお客様のブラウザ上からクッキーなどの情報を取得することがあります。この情報は、お客様、お客様の好み、またはお客様のデバイスに関するものであり、多くの場合はサイトを期待通りに機能させるために使用されます。通常、この情報は特定のユーザーを直接識別するものではありませんが、よりパーソナライズされたウェブ体験をユーザーに提供します。お客様は、当社がお客様の情報を当社のパートナーと共有することについて拒否（オプトアウト）する権利を有しています。以下、クッキーのカテゴリごとの見出しをクリックして詳細を確認後、初期設定を変更頂けます。ただし、当社のウェブサイトが適切に機能するために必須のクッキー（たとえば、クッキーバナーを表示し、お客様が選択した設定を記憶するために必要なクッキー等）については拒否することはできません。また、一部の種類のクッキーをブロックすると、お客様のウェブ体験や当社が提供できるサービスに影響を及ぼす場合があります。

+ 必須 常にアクティブ

▼ **アクセス解析**

Google LLC（Googleアナリティクス）

クッキーを利用するサービスの目的：
ウェブサイトのパフォーマンスを分析し、改善に役立てるため、サイト利用者に関する情報を収集し、Googleへ送信します。Googleでは、送信された情報を分析、統計化し、ウェブサイトのパフォーマンスに関するレポートを当社に提供します。また、Googleでは、これらの情報をGoogle独自のサービス・プロダクトの改善を目的として利用する場合があります。

取得される利用者情報：
クライアントID、IPアドレス、閲覧ページURL、リファラー、デバイスタイプ、OS情報、ブラウザタイプ、利用言語、画像解像度

全てのクッキーを受け入れる 必須クッキー以外のクッキーを拒否する 設定を保存する

b. オプトインするまでは、クッキー取得が機能していないことの確認手順

3. クッキーバナーでオプトイン（クッキー同意ボタンを押す等）を実施し、必須クッキー以外も発行されていることを確認する

（例では、カテゴリ「アクセス解析」をオプトインしたので、「アクセス解析」に紐づくクッキーが発行）

The screenshot shows a web browser displaying the 'ENGINEERS BLOG' website. The browser's Application tab is open, showing the 'Cookie' section. The cookies table is as follows:

名前	値	Domain	Path	Expires ...	サイズ	HttpOnly	Secure	SameSite	Partitio...	Cross S...	Priority
Strictly Necessary Cookies	1	ottest3...	/	セッション	27						Medium
ga	GA1.1.1562166441.1740124443	.iij.jp	/	2026-0...	30						Medium
ga_CBJMPVDM0	GS1.1.1740124443.1.1.1740124531.0.0.0	.iij.jp	/	2026-0...	51						Medium
ga_WD7NXR7ZN1	GS1.1.1740124443.1.1.1740124531.0.0.0	.iij.jp	/	2026-0...	51						Medium

The 'ga' cookie is highlighted in red, indicating it is the one being focused on in the example.

必須クッキーについて

オンラインサービス提供・入力情報の端末への再表示・不正検知やロードバランシングなどにおいて必要不可欠な情報は、「必須クッキー」として本人関与機会（オプトイン又はオプトアウト）無しで取得できる

必須クッキーの例

オンラインサービス提供に真に必要な情報

利用者の入力/認証情報を
端末ディスプレイに再表示するために必要な情報

不正検知等に必要な情報

ロードバランシング等に必要な情報

オンラインサービス提供者が端末に割り当てたID等を当該オンラインサービス提供者のサーバーを送信先として送信させる場合

必須クッキーによる取得情報の例

- コンテンツ再生に必要な端末構成情報

- （ページ戻りしても、アイテムが買い物かごから消えないよう）
買い物かごに入れたアイテム情報
- ユーザーID情報

- （普段と違う端末IDからのログインを疑うための）アクセス端末情報

- 複数のサーバで負荷分散する際に、端末IDを識別して、同一の端末からのリクエストを同一サーバに振り分けてセッションを維持するための情報

- ファーストパーティ・クッキーに保存されたID等、セッション維持、ID・パスワードの入力の省略等のため情報

クッキーバナーツールが発行するクッキーについて

同意情報を保存するクッキーとして、一般的に下記のクッキーなどがある。前ページのクッキー削除作業において、以下のクッキーは削除してはいけない（同意情報が消えてしまうため）
当該クッキーは「必須クッキー」として扱ってよい

同意情報を保存するクッキー

OneTrustによって設定されるクッキー

OptanonConsent

OneTrust社のクッキーバナーをサイトに実装することで発行される、ファーストパーティクッキーになります。このクッキーは、サイト訪問者のクッキーバナーに関する同意情報を保存するクッキーになります。

CookieBotによって設定されるクッキー

CookieConsent

Usercentrics (CookieBot) のクッキーバナーをサイトに実装することで発行される、ファーストパーティクッキーになります。このクッキーは、サイト訪問者のクッキーバナーに関する同意情報を保存するクッキーになります。

TrustArcによって設定されるクッキー

cmapi_cookie_privacy

TrustArcのクッキーバナーをサイトに実装することで発行される、ファーストパーティクッキーになります。このクッキーは、サイト訪問者のクッキーバナーに関する同意情報を保存するクッキーになります。
※当該クッキーとは別に関連するクッキーが複数あり、Storage情報も削除することで同意情報が初期化されます。

STRIGHTによって設定されるクッキー

- SIT-xxxxxx
- cookie_consent_data

STRIGHTのクッキーバナーをサイトに実装することで発行される、ファーストパーティクッキーになります。このクッキーは、サイト訪問者のクッキーバナーに関する同意情報を保存するクッキーになります。
※当該クッキーとは別にStorage情報も削除することで同意情報が初期化されます。

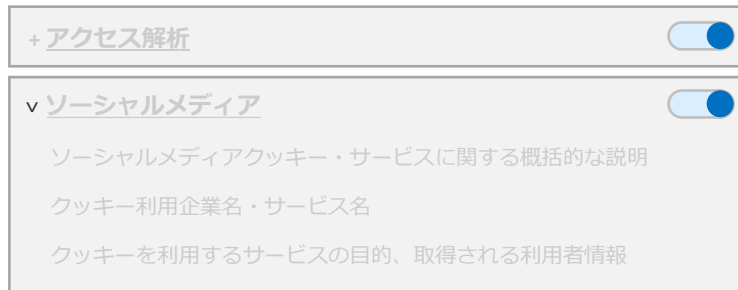
見せ方（文字の色・サイズ）について

Webページに情報を掲載しても、その見せ方次第ではユーザーの誤認を生みます。
例えば、クッキーバナーの第1層/2層で明記している情報提供内容は分かりやすい見せ方が必要です。
下記のような見せ方はNGです。

【審査対象項目一部抜粋】 5.1.5.4.1-(b) クッキーバナー - 情報提供の事実確認

(略) ~明記される内容は、日本語でわかりやすい言葉で、操作をしなくてもデフォルトで適切な文字サイズで、色の視認性や画面上のサイズを読みやすく考慮して明記されているか確認する。

NGイメージ



+ アクセス解析

▼ ソーシャルメディア

ソーシャルメディアクッキー・サービスに関する概括的な説明

クッキー利用企業名・サービス名

クッキーを利用するサービスの目的、取得される利用者情報

全てのクッキーを受け入れる

必須クッキー以外のクッキーを拒否する



+ アクセス解析

▼ ソーシャルメディア

ソーシャルメディアクッキー・サービスに関する概括的な説明

クッキー利用企業名・サービス名

クッキーを利用するサービスの目的、取得される利用者情報

全てのクッキーを受け入れる

必須クッキー以外のクッキーを拒否する

背景と同化・色が薄い等、
文字が読みにくい

文字が小さすぎる

見せ方（文字の色・サイズ）について

ウェブアクセシビリティに関するガイドライン「WCAG（Web Content Accessibility Guidelines）」では、文字の色やサイズについての基準が設けられているので、見せ方に迷った際は参考にしてください。

NGイメージ

+ アクセス解析

▼ ソーシャルメディア

ソーシャルメディアクッキー・サービスに関する概括的な説明

クッキー利用企業名・サービス名

クッキーを利用するサービスの目的、取得される利用者情報

全てのクッキーを受け入れる

必須クッキー以外のクッキーを拒否する

+ アクセス解析

▼ ソーシャルメディア

ソーシャルメディアクッキー・サービスに関する概括的な説明

クッキー利用企業名・サービス名

クッキーを利用するサービスの目的、取得される利用者情報

全てのクッキーを受け入れる

必須クッキー以外のクッキーを拒否する

背景と同化・色が薄い等、
文字が読みにくい

文字が小さすぎる

WCAG (参考)
での基準

コントラスト比

テキストと背景の間に十分なコントラストを設けること

- 通常テキスト：コントラスト比 4.5:1以上
- 大きなテキスト：3:1以上

<https://www.w3.org/WAI/WCAG22/Understanding/contrast-minimum.html>

テキストの可読性

ユーザーがテキストを拡大しても読みやすさを損なわないこと

- 最大200%まで拡大することを想定

<https://www.w3.org/WAI/WCAG22/Understanding/resize-text.html>

一般社団法人ダークパターン対策協会

<https://www.ndda.net/>



チェックマークは“信頼できる状態”を約束するシンボル。

「信頼」「安定」を象徴するグリーンを組み合わせることで、

誰もが安心して使えるインターネット環境の証を表現しています。

このシンプルなロゴデザインには、目に見えないインターネットの

世界にこそ必要な消費者へ「見える安心」をお届けすること、

ダークパターンへ対峙する企業としての責任ある姿勢が込められています。